



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成28年3月調査分)

景気の現状判断DI≫

	平成27年12月	平成28年3月	前回調査比
茨城県	46.5	44.9	△1.6
県北地域	46.3	44.9	△1.4
県央地域	47.8	43.0	△4.8
鹿行地域	48.2	45.8	△2.4
県南地域	50.5	47.7	△2.8
県西地域	39.4	43.3	+3.9

景気の先行き判断DI≫

	平成27年12月	平成28年3月	前回調査比
茨城県	46.6	48.5	+1.9
県北地域	47.7	43.1	△4.6
県央地域	46.1	51.3	+5.2
鹿行地域	48.2	48.1	△0.1
県南地域	49.1	49.1	0.0
県西地域	42.1	51.0	+8.9

平成28年4月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、太子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

全 県	300 人	271 人	90.3%
県北地域	60 人	54 人	90.0%
県央地域	60 人	57 人	95.0%
鹿行地域	60 人	54 人	90.0%
県南地域	60 人	54 人	90.0%
県西地域	60 人	52 人	86.7%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

5 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成28年3月調査の調査期間は、平成28年3月1日から平成28年3月31日である。

6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

Ⅱ 調査結果の概要

1 全県の動向

(1)景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは44.9となった。平成27年12月の調査（以下、「前回調査」という。）より1.6ポイント低下し、横ばいを表す50を8期連続で下回った。

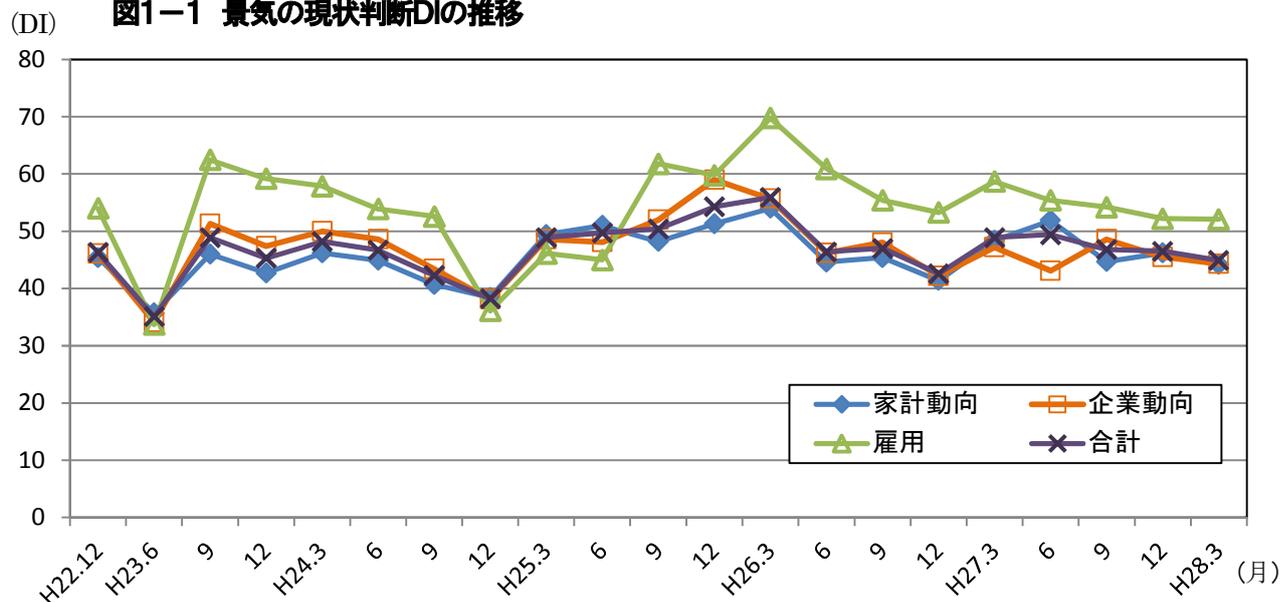
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月				
	平成27年 3月	平成27年 6月	平成27年 9月	平成27年 12月	平成28年 3月
合計	48.9	49.4	46.8	46.5	44.9
家計動向関連	48.4	51.9	44.7	46.2	44.2
小売関連	50.4	52.2	49.1	46.2	40.7
飲食関連	48.9	50.0	38.5	39.6	40.2
サービス関連	46.3	52.4	42.4	47.2	46.6
住宅関連	50.0	50.0	53.1	56.3	55.6
企業動向関連	47.2	43.1	48.6	45.5	44.3
農林水産業	43.8	40.6	46.9	50.0	43.8
製造業	43.5	42.6	46.1	41.3	43.9
非製造業	52.9	44.3	52.1	50.0	45.0
雇用関連	58.7	55.4	54.2	52.2	52.1

表1-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 3月	2.1%	22.4%	50.0%	19.9%	5.6%
平成27年 6月	1.7%	23.0%	51.2%	19.2%	4.9%
平成27年 9月	1.5%	18.7%	52.1%	21.0%	6.7%
平成27年12月	0.7%	18.9%	53.1%	20.0%	7.3%
平成28年 3月	0.4%	17.7%	50.2%	24.7%	7.0%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは48.5となった。前回調査より1.9ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

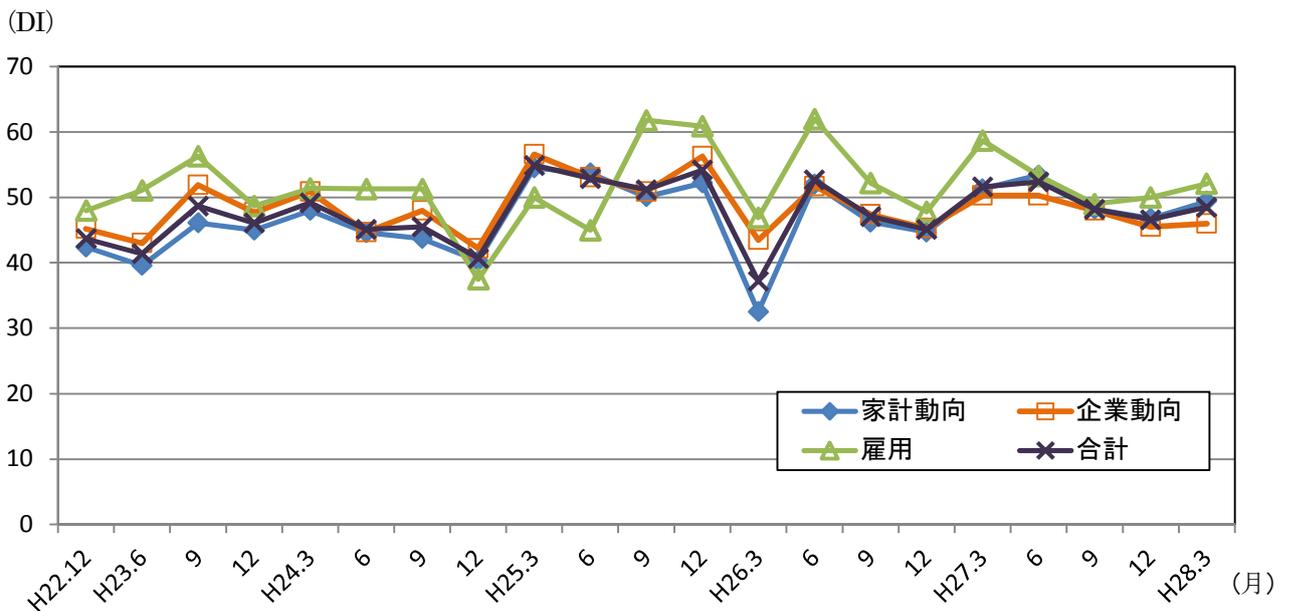
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	平成28年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		51.6	52.4	48.2	46.6	48.5
家計動向関連		51.3	53.4	48.2	46.8	49.4
	小売関連	54.2	53.7	47.2	45.8	47.2
	飲食関連	50.0	52.1	44.8	49.0	45.7
	サービス関連	49.7	54.1	51.1	46.9	51.7
	住宅関連	42.9	50.0	40.6	46.9	52.8
企業動向関連		50.3	50.3	48.0	45.5	46.0
	農林水産業	46.9	43.8	50.0	43.8	46.9
	製造業	52.2	52.1	45.0	44.6	48.9
	非製造業	48.6	49.3	51.4	47.1	42.1
雇用関連		58.7	53.3	49.0	50.0	52.1

表1-4 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成27年 3月	1.0%	27.6%	51.7%	15.7%	3.8%
平成27年 6月	2.4%	24.0%	56.8%	14.3%	2.4%
平成27年 9月	0.7%	19.9%	55.1%	20.2%	4.1%
平成27年12月	0.4%	15.3%	59.6%	20.0%	4.7%
平成28年 3月	0.7%	18.5%	59.8%	16.2%	4.8%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは44.9となった。前回調査より1.4ポイント低下し、横ばいを表す50を8期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	平成28年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		43.6	43.9	42.0	46.3	44.9
家計動向関連		43.1	46.4	39.4	46.8	42.2
企業動向関連		43.4	38.9	43.4	44.7	47.2
雇用関連		50.0	43.8	56.3	50.0	56.3

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 3月	1.7%	10.2%	59.3%	18.6%	10.2%
平成27年 6月	1.8%	14.0%	49.1%	28.1%	7.0%
平成27年 9月	1.8%	17.9%	41.1%	25.0%	14.3%
平成27年12月	0.0%	20.4%	50.0%	24.1%	5.6%
平成28年 3月	1.9%	16.7%	51.9%	18.5%	11.1%

② 県央地域

景気の現状判断DIは43.0となった。前回調査より4.8ポイント低下し、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	平成28年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		50.0	52.1	51.4	47.8	43.0
家計動向関連		48.6	55.8	47.1	46.6	42.4
企業動向関連		46.7	40.6	56.7	45.3	39.1
雇用関連		70.0	60.0	65.0	65.0	60.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 3月	1.8%	25.0%	50.0%	17.9%	5.4%
平成27年 6月	1.7%	28.3%	51.7%	13.3%	5.0%
平成27年 9月	3.6%	25.5%	47.3%	20.0%	3.6%
平成27年12月	1.7%	19.0%	55.2%	17.2%	6.9%
平成28年 3月	0.0%	17.5%	45.6%	28.1%	8.8%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは45.8となった。前回調査より2.4ポイント低下し、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年 3月	平成27年 6月	平成27年 9月	平成27年 12月	平成28年 3月
合計		50.9	50.4	48.6	48.2	45.8
	家計動向関連	52.3	54.4	46.8	47.0	48.4
	企業動向関連	43.4	42.1	51.3	50.0	41.7
	雇用関連	70.0	55.0	50.0	50.0	45.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 3月	0.0%	29.8%	45.6%	22.8%	1.8%
平成27年 6月	1.7%	22.4%	53.4%	20.7%	1.7%
平成27年 9月	0.0%	14.5%	67.3%	16.4%	1.8%
平成27年12月	0.0%	17.9%	60.7%	17.9%	3.6%
平成28年3月	0.0%	18.5%	51.9%	24.1%	5.6%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは47.7となった。前回調査より2.8ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年 3月	平成27年 6月	平成27年 9月	平成27年 12月	平成28年 3月
合計		50.9	54.5	45.8	50.5	47.7
	家計動向関連	51.5	57.8	44.8	50.0	47.5
	企業動向関連	51.4	50.0	44.7	51.3	48.7
	雇用関連	43.8	50.0	55.0	50.0	45.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 3月	5.5%	21.8%	47.3%	21.8%	3.6%
平成27年 6月	1.8%	25.5%	61.8%	10.9%	0.0%
平成27年 9月	1.9%	13.2%	54.7%	26.4%	3.8%
平成27年12月	1.9%	20.8%	56.6%	18.9%	1.9%
平成28年 3月	0.0%	20.4%	51.9%	25.9%	1.9%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは43.3となった。前回調査より3.9ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回った。

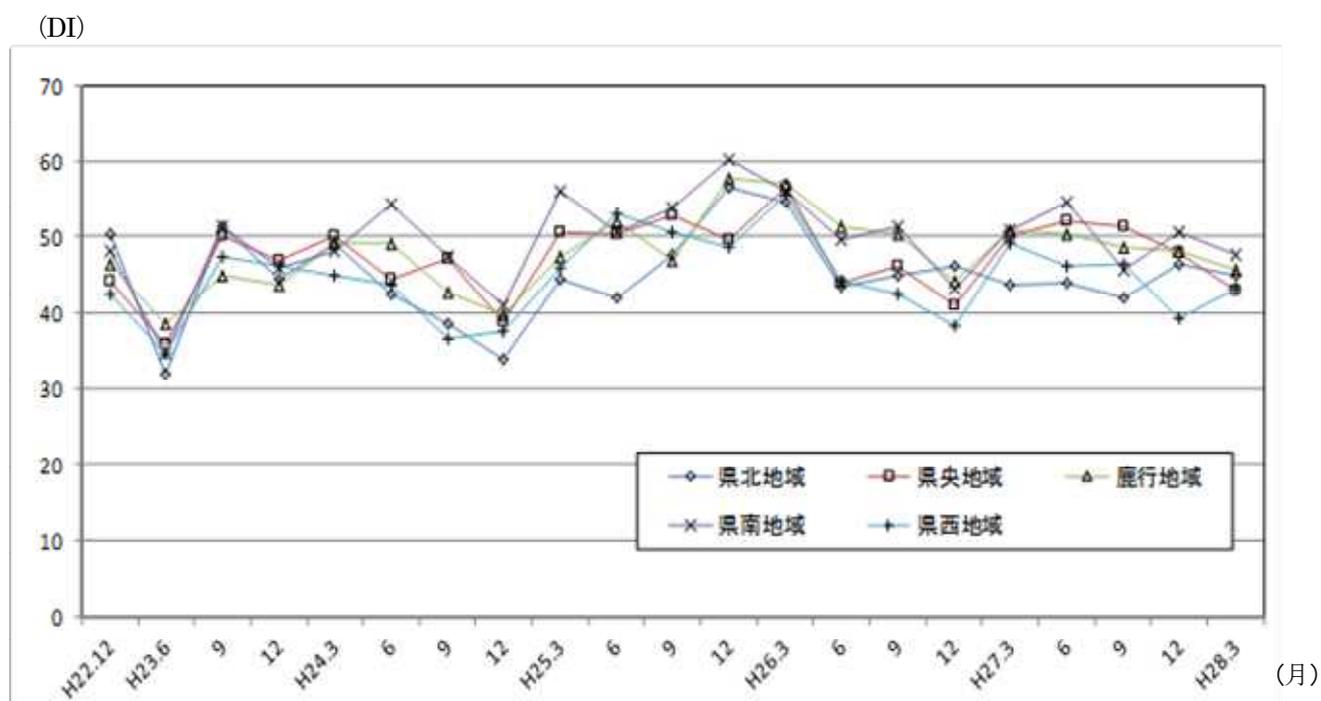
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	平成28年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		49.2	46.1	46.4	39.4	43.3
家計動向関連		47.2	44.9	45.4	40.6	40.8
企業動向関連		51.4	43.4	48.4	35.3	44.1
雇用関連		55.0	68.8	45.0	45.0	55.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 3月	1.7%	25.4%	47.5%	18.6%	6.8%
平成27年 6月	1.8%	24.6%	40.4%	22.8%	10.5%
平成27年 9月	0.0%	22.9%	50.0%	16.7%	10.4%
平成27年12月	0.0%	16.7%	42.6%	22.2%	18.5%
平成27年12月	0.0%	15.4%	50.0%	26.9%	7.7%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは43.1となった。前回調査より4.6ポイント低下し、横ばいを表す50を4期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年 3月	平成27年 6月	平成27年 9月	平成27年 12月	平成28年 3月
合計		51.7	49.1	46.9	47.7	43.1
	家計動向関連	51.4	48.6	47.7	48.4	43.0
	企業動向関連	51.3	50.0	46.1	46.1	44.4
	雇用関連	56.3	50.0	43.8	50.0	37.5

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 3月	0.0%	30.5%	52.5%	10.2%	6.8%
平成27年 6月	0.0%	14.0%	71.9%	10.5%	3.5%
平成27年 9月	0.0%	17.9%	55.4%	23.2%	3.6%
平成27年12月	0.0%	16.7%	59.3%	22.2%	1.9%
平成28年 3月	0.0%	18.5%	42.6%	31.5%	7.4%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは51.3となった。前回調査より5.2ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年 3月	平成27年 6月	平成27年 9月	平成27年 12月	平成28年 3月
合計		49.6	54.6	50.5	46.1	51.3
	家計動向関連	50.0	58.3	51.4	47.3	50.7
	企業動向関連	43.3	46.9	46.7	39.1	51.6
	雇用関連	65.0	50.0	55.0	60.0	55.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 3月	3.6%	19.6%	53.6%	17.9%	5.4%
平成27年 6月	5.0%	26.7%	53.3%	11.7%	3.3%
平成27年 9月	0.0%	27.3%	50.9%	18.2%	3.6%
平成27年12月	1.7%	12.1%	58.6%	24.1%	3.4%
平成28年 3月	3.5%	15.8%	68.4%	7.0%	5.3%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断DIは48.1となった。前回調査より0.1ポイント低下し、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	平成28年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		50.9	53.9	48.6	48.2	48.1
	家計動向関連	50.8	55.9	47.6	49.2	50.8
	企業動向関連	50.0	51.3	50.0	45.8	43.1
	雇用関連	55.0	50.0	50.0	50.0	50.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 3月	0.0%	24.6%	56.1%	17.5%	1.8%
平成27年 6月	3.4%	22.4%	60.3%	13.8%	0.0%
平成27年 9月	1.8%	12.7%	67.3%	14.5%	3.6%
平成27年 12月	0.0%	14.3%	67.9%	14.3%	3.6%
平成28年 3月	0.0%	11.1%	74.1%	11.1%	3.7%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断DIは49.1となった。前回調査からの変動はなく、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	平成28年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		52.7	53.6	48.1	49.1	49.1
	家計動向関連	53.0	53.9	47.4	48.3	50.0
	企業動向関連	51.4	51.4	47.4	50.0	46.1
	雇用関連	56.3	60.0	55.0	50.0	55.0

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 3月	1.8%	27.3%	52.7%	16.4%	1.8%
平成27年 6月	1.8%	29.1%	50.9%	18.2%	0.0%
平成27年 9月	0.0%	17.0%	60.4%	20.8%	1.9%
平成27年 12月	0.0%	20.8%	56.6%	20.8%	1.9%
平成28年 3月	0.0%	20.4%	61.1%	13.0%	5.6%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは51.0となった。前回調査より8.9ポイント上昇し、横ばいを表す50を3期ぶりに上回った。

表2-19 景気の先行き判断DI

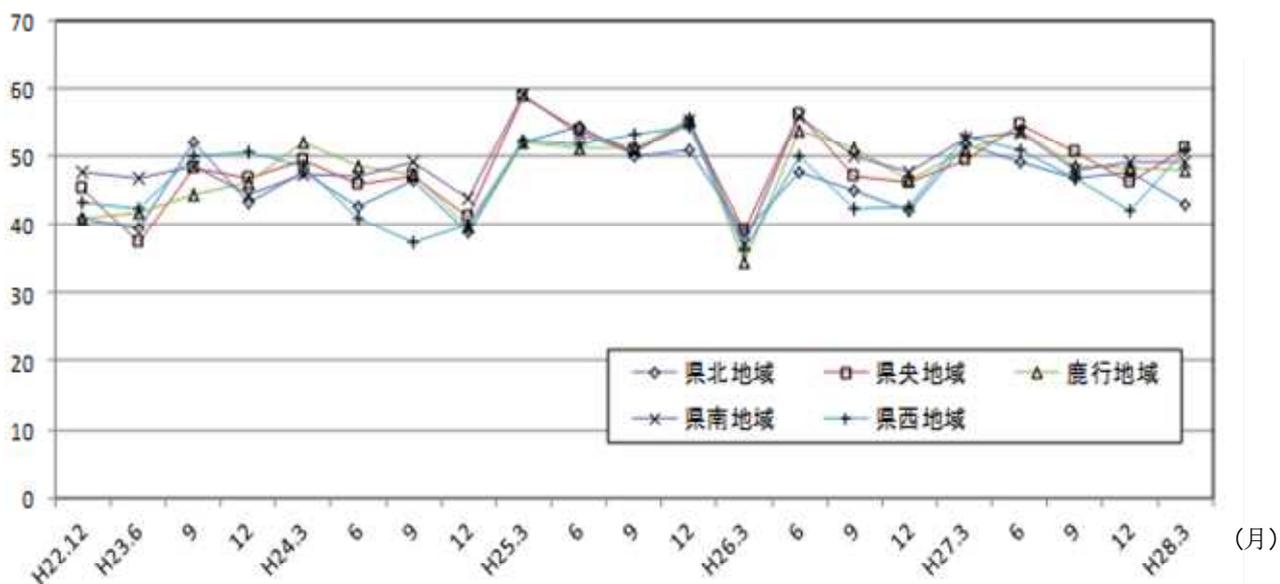
分野	調査月	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	平成28年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		53.0	50.9	46.9	42.1	51.0
家計動向関連		51.4	50.0	46.3	40.6	52.5
企業動向関連		54.2	51.3	50.0	45.6	45.6
雇用関連		60.0	56.3	40.0	40.0	60.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 3月	0.0%	35.6%	44.1%	16.9%	3.4%
平成27年 6月	1.8%	28.1%	47.4%	17.5%	5.3%
平成27年 9月	2.1%	25.0%	39.6%	25.0%	8.3%
平成27年 12月	0.0%	13.0%	55.6%	18.5%	13.0%
平成28年 3月	0.0%	26.9%	51.9%	19.2%	1.9%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移

(DI)



Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 東北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	企業	製造業（電気機械器具）	前年の同時期と比較して、売上げが伸びている。	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	年度末を迎えて、仕事が集中してきている（例年）。	
		小売業（弁当・惣菜店）	当店の売上げは良いとは言えないが、順調に推移しています。	
		観光型ホテル	昨年同期と比較して、宿泊は横ばい。日帰り宴会は増加している。客単価は下落しているものの、利用者数が増加しており、売上げも増加している。	
		ドライブイン	昨対の販売額が、3か月前の前年同月対比より3ポイントほど良かった。ガソリンも安いので、天気さえ良ければ人の動きが多い。	
		ゴルフ場	予約状況12月時点に比べて、今月はプラス4ポイントで推移している。売上げでは、プレー料金の競争の中での確保が続いている。	
		ゴルフ場	来場者数、売上げが少し上向いた。ただし、客単価は下がっているため一概に良いとの判断はできない。	
	企業	製造業（電気機械器具）	新規の仕事の話が来たり、従来の仕事でも数量が増えたりして、年明けから少し上昇傾向が見られる。	
		運輸附带サービス業	職安で求人票を見ている人が減ったように思える。飲食街に人が戻りつつある。	
	求人	公共職業安定所	減少傾向だった求人数が、新規及び有効ともにわずかではあるが増加したため、雇用に向けた動きがみられた。	
	変わらない	家計	商店街代表者	売行きからの判断です。
			スーパー	動向はほぼ変化がないと思うが、安価な商品への反応が速いことは気になる点の一つである。
			スーパー	客単価に変化なし。点数も変化なし。新商品の導入にもあまり飛びつくこともなし。
			農産物直売所	売上げが変わらない。
小売業（水産物）			売上げが横ばい。	
小売業（時計）			売上げの悪い日が続いたり、良い日が続いたり合計で変わらない。	
中国料理店			景気について、良くなったという話はほとんど聞きません。お金がかかって大変だという話ばかりです。	
食堂			当方、個人営業でも長年営業しているので、常連たちで「あの人の顔見ない、どうしているか…」と客同士が心配して電話した。一度リタイアした方は、バイトが少なくなり、前みたいに散歩がなくて家でじっとしている、とのことだった。病気になったら大変だと思う。	
旅行代理店			受注件数、受注額とも前年度と比較し、3か月前も現在も若干下回る傾向に変化がない。	
レジャー施設			東北地区において、景気が左右される大きな要因が見られない。	
ボウリング場			季節柄、学生が多いのみで、一般利用者に伸びが見られない。	
住宅販売会社			1月に入って来店数が増加したが、最近はまだ落ち着いてしまった。	
企業			林業関係者	近くでバイオマス発電所の建設があり、素材の動きは活発になっている。
		製造業（電気機械器具）	個々の作業従事時間が変動していない。	
		製造業（電気機械器具）	官庁等の年度末の関係で、足元の仕事量は相当増えた。ただ、一時的なものである。	
		製造業（電気機械器具）	今月は、年度末の時期で忙しい状況であるが、それらの季節的要因を除くと、3か月前と比べ、景気に変化が見られるとは思えない。	
		製造業（電気機械器具）	売上げが横ばい。	
		製造業（一般機械器具）	来場者数に大きな増減がない。	
		建設業	見積件数や新規着工等は、大きな動きはないので、景気は変わらない。	
	金融業	日立製作所の創業地であるが、2009年頃からの組織改変による三菱重工業と火力発電システム事業を統合して発足した三菱日立パワーシステムズは、三菱重工業が主導している。基幹工場の社員は新会社の傘下となり、転籍等もあり、人口流失の一因となっている。また、市内業者は日立製作所からの受注依存度が高かったため、日立製作所の組織改変の影響を受け、受注は低調に推移しており、先行き不透明な状況が続いている。		
不動産業	特に目立って好転していない。			
情報通信業（情報サービス業）	商談は増加傾向にあるが、受注には結びつかない。			

変わらない	雇用	求人広告	継続的というより突発的な依頼が多く、それも全体的ではなく一部に集中している感がある。
		学校就業関係者	年明け後、新たな求人の話が全くきていない。
		求人開拓員	自動車関連、家電製品製造業では、受注が増加して人手が必要になっているが、その傾向が継続するかは不明で、不安視している。
やや悪	家計	スーパー	来客数が減った。目的以外の品物は買わない。
		衣料品販売店	来客数が少ない。
		自動車販売店	例年この時期は、新卒者、年度末などの理由から、年間の中でも最大需要期であるのにも関わらず、販売の動きが鈍い。
		小売業（酒類）	大型店と価格競争はできないので、専門店としてできることを努力しているが、来店客数は減少している。
		スナック	例年なら、3月になるとお客様が増えるのに、今年は開店して18年目にしてお客ゼロの日が週に1、2回ある。
		観光型ホテル	2月までプレミアム券等、特典付きのサービスがあったため、宿泊は増えていた。3月はその反動で昨対より悪い。
		観光型ホテル	あきらかに流通や経済の動きがない。
		タクシー運転手	市内の大手企業の動向が悪くなっている。
悪くなっている	企業	タクシー運転手	我がテリトリー内の大企業が、全国的なニュースになった不祥事の件で、片棒を担いだ格好となって営業自粛等のペナルティを受けたため、それに関係する接待・飲食・ゴルフ等全てなくなってしまったように思われた。また、その企業のみならず、グループ企業、下請け、他関係企業も付きあっているような感じで、昼間の動きも少なく、夜の飲食街も大人しく、動きが感じられなかった。よって、私達タクシー業界も仕事量も少なかったし、売上げも低下した。
		家計 ゴルフ場	小売店の店主が店を辞める理由を飲食店の方が聞いたところ、若い人たちが店に来なくなってしまい、売上げが減少しているとのこと。
		製造業（電気機械器具）	安定受注できず谷の状態。
		製造業（精密機器）	リーマンショック並に受注が減っています。原因はテロか？中国か？先行きも不明な状況です。車もダメです。
	運輸業	貨物量の減少がここ最近目立ってきた。	

(2) 県央地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	ドライブイン	観光地近辺での仕事なので、今はお客様も来店されています。天候なども、売上げに関係してきますが、暖冬だったので良かった。
		観光名所	3か月前の売上高は前年より落としたのに対し、2月の売上高は前年よりも上回っているため、景気はやや良くなっていると判断する。多少ではあるが、前年より利益率が上がり、最寄品より買回品、専門品へ消費傾向がシフトしている。
		レジャー施設	昨今の今頃と比較して、契約者が若干名増えている。
		住宅販売会社	年明け以降、来店数が徐々に増え始めた。
	企業	製造業(精密機械器具)	従来、3月は年度末決算月であり、当月受注・当月出荷があり、売上げの伸びる月ではありますが、9月が予定以上の売上げがあり、その差が小さいため「やや良くなっている」としました。なお、9月は複数OEM先の売上げがまとまって計上されました。
		不動産業	集客が戻りつつある。ただ、単価自体は減少の傾向にある。
		サービス業(広告業)	パンフレットなどのツールを、新しいデザインで制作する案件が増えている。また、ホームページのリニューアル等、積極的な動きが多く見られる。
		サービス業(コンサルタント業)	年度末のためか、仕事の受注が増えている。
	雇用	求人広告	新規オープンのお店が増えている。
		公共職業安定所	当所の独自アンケート(180社)により、64%が「好調～普通」の回答。
変わらない	家計	商店街代表者	これといった変化は見られない。
		商店街代表者	毎年、1月は初売りセールを行っております。今年も例年と同企画で実施しましたが、6年間で初売りセールの売上げが一番悪かった。個人消費は芳しくないが、2月、3月は企業、官庁関係からの受注があり、全体的には昨年より落ち込まなかった。
		百貨店、総合スーパー	3か月前は歳暮、クリスマス商戦が活発であった。3月も卒業、入学に関する需要で来店客数が増加するのは毎年のことであるが、客単価は3か月前と大きく変わらない推移でいくと予想される。
		百貨店、総合スーパー	大部分のお客様は、依然慎重なお買物をされています。この冬は比較的暖冬だったため、防寒関連商品を新たに買い替えるよりも、昨年の着回しで良いと話すお客様が多かった。秋頃も同じような話をする方が多かった。
		スーパー	買上点数が、3か月前より0.2アップし10.9となった。ただし、点単価を下げて対応しているのので、実質は変わらないと判断しました。
		楽器販売	特に何のトピックスもなく、物販は振るう感じが感じられない。
		レストラン	利用客に変化は見られない。
		レストラン	歓送迎会、卒業・入学祝い等の時期だが、予約や利用状況はほぼ変わらない。客単価も変動がない。
		都市型ホテル	現状と変わりません。
		都市型ホテル	歓送迎会の時期であるが、昨年より予約状況は伸びず、単価も下がっている。
		旅行会社	バス・ハイヤーの売上げが上がらない。
		タクシー運転手	相変わらず、夕方6時以降は仕事が少ないです。6時から夜の12時頃までで2～3回程です。会社では、夕方5時頃出勤する人が1名います。その人が大工町の様子を会社に報告するのですが、1回仕事をして報告をする前に、会社の車庫に戻ってきます。このような状態です。
		タクシー会社	1台あたりの日車(1日あたり走行キロ)運送収入や実車走行キロがほぼ横ばいなので、駅や繁華街のお客様の動向に特別変化は見られないと感じる。
		タクシー会社	お客様のタクシー利用頻度が、3か月前との比較で変化がない。依然として利用を控えているように思える。特に、高齢者の利用が減少傾向にあるが、駅からの利用は若干伸びているので、総合的に変化なしと判断します。
		レジャー施設	施設利用者数は対前年同期比をやや上回ったが、県が発行したプレミアム周遊券(利用期間2月29日まで)の利用効果が出たものと思われる。裏付けとして、個人客は伸びたが団体客は逆に減少している。全体的には観光レジャーへの消費支出は変わらないと感じる。
		スーパー銭湯	暖冬の予想通り、前半は暖かい日が続いたため、当館も街中も決して好感感があるとは思われない様子を呈していたが、後半に寒さが戻って来たため、当館としては例年通りの状況に戻るとともに、茨城プレミアム券の駆け込み利用が例年より好感感を感じさせてくれた。
		理・美容店	今月は卒業式のお客様が多いとはいえ、着付け、セットの単価はそれほど高くないので(売上げは)12月とあまり変わらない。
		理・美容店	前年に比べて横ばいの売上げです。
		建築設計事務所	小規模傾向ではあるが、ポツポツとコンスタントに受注がある。

変 わ ら な い	企業	製造業（印刷・関連業）	受注量が減少している。
		製造業（一般機械器具）	良くも悪くもない。このまま行ってくれば良いと考えている。
		建設業	変化する兆しが見られない。むしろ、悪化を心配した様子見。
		情報通信業（情報サービス業）	金利・株・円・原油等々の動向不安もあり、顧客から、年度末にかけて検討されていた投資は、次年度以降に延伸するとの話があった。アベノミクス効果への期待は高いが、地場市場では低空飛行のままと感じており、弊社の景況感も3か月前と変わらない。
雇 用	人材派遣業	売上げも横ばいが続いている。	
	学校就業関係者	各企業の人事担当者が、来年度の求人等を大学に持参していただいているときに情報交換をしているが、3か月間で変わったような話を聞いていない。このため、景気の状態は変わっていないと考える。	
	求人開拓員	求人人数は増加傾向にありますので、雇用から見た景気感是不変に思われます。求人件数は、昨年12月と今年2月を比較してみると、製造業は落ち込み、卸・小売業が増加、医療・福祉関係は横ばいです。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	為替影響などにより、一部商品の単価が下がってきている。商品価格の下落から、デフレにまた戻ってしまいそう。マイナス金利を合わせても、消費者心理は厳しい状況になっていると思われる。
		スーパー	限定品とかいっても、あまり買わなくなっている。定番品しか売れなくなってきたようだ。
		スーパー	お客様の来店回数が減少している。点単価と買上点数は微増している。
		スーパー	円高、株価低迷など、経済に関して負の話題しか出てこない。
		家電販売店	前年の同時期と比べると売上げが落ちている。
		農産物直売所	直売所での飲食店の方の買う量、注文の量がやや減ってきている。ギフト商品の動きは、特に動きはない。
		レストラン	現在は歓送迎会の申込み時期ですが、今までご利用の企業が予算の関係で居酒屋等に変える企業が数社あった。
		観光型ホテル	中国経済減速や株式市場の不安定な動き等により、消費マインドに警戒感がある気がする。
		旅行代理店	1月の軽井沢でのバス事故の影響により、国内パック旅行（バス利用）が減少傾向にある。
		タクシー運転手	今月は卒業や異動、観梅の時期であり、例年と同様に他の月より乗客数が多くなっているが、それは毎年のことである。ただし、例年に比べ客単価が下がっており、売上げについて今月の前年比と3か月前の前年比を見ると、今月の伸び率が悪くなっている。
ゴルフ場	シーズンオフに入り、例年のとおり予約数に伸びが見られない。		
企業	農業関係者	農閑期であり、農産物の出荷も少なく収入がない。	
	製造業（食料品）	受注数の減少を感じています。	
	製造業（金属製品）	年が明けてから、急激に仕事が減りました。同業他社も同じ状況のようです。稼働率は60～70%程度です。	
	運輸業（道路貨物運送業）	例年に比べ、年度末の割に貨物の動きが良くない。	
	金融業	経済状況の悪化や将来への不安により、個人消費が落ち込んでいる。また、人口減少などの問題が不況に拍車をかける要因となっている。	
家計	自動車販売店	5年前の地震の影響で、車検が極端に減り、併せて新車の販売も伸びていない。新型車の効果が続かない。	
	割烹料理店	3か月前というと、飲食店にとっては忘年会シーズン。それに比べると、この時期はやはり落ちるのは仕方ないのかなと思います。	
企業	製造業（食料品）	3か月前も盛り上がりがないクリスマスだったと記憶しているが、水戸での最大のイベントである梅祭りが、花の咲くのが早い割には人出が少ないように思う。	
	製造業（印刷・関連業）	売上げの落ち込みが大きい。	
	製造業（窯業・土石製品）	仕事の量が激減している。	

(3) 鹿行地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	観光名所	コメント	
良	-	-	-	
やや良くなっている	家計	洋食堂	例年1～2月は大雪の日があったり、天候の影響を何日かは受けたりするが、暖冬のためか順調な営業を続けられた。	
		観光型ホテル	同じ団体の人数が昨年に比べ多くなっている。	
		観光型ホテル	例年、比較的空いている平日の新規のご予約が増えてきた。	
		ドライブイン	プレミアム商品券等の利用が多かった。	
		ゴルフ場	シニア層の動きは活発。	
		理・美容店	お客様の客単価が上がっている。サービス業に支出できる金額が増加していると感じとれる。	
		住宅販売会社	土地を売りたい、住宅を売りたい、というお客様が少し増えた。	
	企業	農業関係者	野菜については、売上げが伸びている。しかし、今後の景気動向により伸び率の低迷も予想され、若干不安も感じられる。	
		製造業（電気機械器具）	受注増が続いている。	
	変わらない	家計	スーパー	客数や客単価に大きな変化がない。
			家電販売店	街全体で大きな動きはない。モールの建設が進んでいるが、途中のため実質変化はなし。
			農産物直売所	店の売上げに変化がない。
			小売業（菓子類）	今月の売上げ額と昨年の額がほとんど同じである。
小売業（食品）			年末の動きは、いつもの月よりは良かった。3月も道の駅、JA直売所の動きはやや悪いか、変わらないと思う。	
精肉店			お客の来店人数などが、ほとんど変わっていない。売上げ等も1月、2月とも昨年暮れと比べてもさほど落ちていないので、まあまあだと思います。	
小売業（書店）			昨年12月頃から状況に変化がない。若干悪い曜日もあるが、1か月トータルでみると変わらない。	
和食レストラン			売上げ等を勘案。	
割烹料理店			シーズンとしては送別会などで忙しくなるはずだが、予約の状況としては芳しくない。	
日本料理店			特に変わったことがない。	
タクシー運転手		当地域のお客様の中心は、高速バス利用客と高齢者であり、デマンドタクシーの定着により、高齢者の利用がほとんどなく、バス利用客だけでは売上げは伸びない。		
タクシー運転手		会社関係の仕事は、ほぼ横ばい状態で推移していると思われる。個人の利用者も増えてこないのが現状です。		
レジャー施設		具体的理由は見当たらないが、肌で感じる景況感には変わっていない。		
理・美容店		売上げで見る限り、来客数も売上げも変わらない。		
住宅販売会社		若干の動きは出てきたが、まだ良くなっている感じがしない。		
企業		製造業（食料品）	冬場が繁忙期なので受注が多いままである。取引先からの注文数は昨年と同程度。	
		製造業（食料品）	販売状況は順調であるが、特に上振れする様子も見られないことから、景気は横ばいだと思う。	
	製造業（鉄鋼業）	年度末であるが、例年と特に変わらない状況であり、景気により左右されている事柄は感じられない。		
	建設業	景気上昇と言われますが、景気が良くなっている感じは伝わってきません。		
	建設業	建設業なので着工棟数が少ないです。大手ハウスメーカーなどへの受注が多くなっています。中小工務店は苦戦しています。		
	金融業	業種によって様々ですが、依然として中小企業・小規模事業所では、数か月先までの受注は確保しているものの、それ以降の見通しについては不透明であり、年度末ということを考慮しても、今月の景気は3か月前と変わらないと思われる。		
	不動産業	売行きも特に変化がないです。居酒屋さんの方が、2月は売上げが思った以上に悪いとの声。		
火力発電所	製品（電力）量の出荷に大きな変化が見られない。			

変 わ ら な い	雇用	民間職業紹介業	求職登録者が少なく、なかなかマッチングできない状況が続いている。
		公共職業安定所	有効求人倍率等、指標の大きな変化はなかった。
		学校就職関係者	特に変化は感じられない。
		求人開拓員	求人は相変わらず、介護、保育士、運転手等が多い状態であり、なかなか充足されない。賃金も低いまま推移しており、景気も変わらない。
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	現状は大変厳しい状況が続いています。
		スーパー	高級品、特に和牛などが売れていない。雑貨物も価格が特に安い物しか売れていない。
		衣料品販売店	昨年に対して、客単価が下がっている。
		小売業（薬品店）	例年だと、年末で注文が入ってくるのに、注文数が少ない。
		タクシー運転手	地域の一般乗客者の減少傾向と、乗客者との会話等で、日常生活に対して不安的となる。
		クリーニング店	毎年のことで、来客数は同じである。しかし、点数は減っている。家で洗える物は持ってこない。洗剤も良くなっている。先々の不安も考えている。来年、消費税アップも考えている。（4月よりたばこの値上げなども）
		企業	製造業（食料品）
製造業（金属製品）	海外にもつくり拠点を移した結果、移設先のリスクを国内で補うことになり、金額的支援が外向となっている。（内製減産、小ロット化、営業所統合などによる人員削減）		
運輸業（道路貨物運送業）	仕事の量が減っている。荷主からの要請も連続性がなくなっている傾向がある。貨物の動きは全体的に鈍化している。		
保険業	株価が下がって余裕がない人が見られる。		
内装工事業	少ないながらぼつりぼつりと新築が建っているが、今後を予想しても物件の勢いをまったく感じることがない。		
サービス業	自動車分野を中心とした機械工業分野および中国市場をターゲットとした建機部門からの受注が大幅に減少している。また、都市再開発による高層ビルの建築需要が減少していると感じる。		
悪	雇用	人材派遣業	人材派遣の要請は依然として旺盛であり、特に産休産後の代替や技術者の派遣要請が特に多い。ただ、各社の管理職の皆さんの口調として、企業の業績は徐々に厳しさが顕著になってきたとのことです。また、下請け企業となると単価引き下げもあり、更に厳しい環境で働かねばならない。
		家計 農産物直売所	当店は特別な変化はないが、来店客数が目に見えて減った。より余計なものは買わないようにしているお客様が増えた。
		企業 製造業（食料品）	年末年始はいつもながら動きはあったが、今年に入り人の動き、荷の動きがない。

(4) 東南地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	—	—	—	
やや良くなっている	家計	農産物直売所	単純ではあるが、売上げは伸びている。	
		和食食堂	単価の高いものの出数が伸びている。	
		都市型ホテル	当施設に関しては、売上げが上がり良くなっているが、近隣の施設の撤退がひとつの要因に思われる。ただし、一人当たりの単価は多少上がっているため、やや良くなっていると思われる。	
		タクシー運転手	最寄りのパチンコ屋しか行かなかったお客さんが、5キロメートル程遠い店舗にも行くようになった。	
		住宅販売会社	原油安やマイナス金利の影響か、お客様の動きが活発になってきた。	
	企業	製造業（食料品）	原油価格の下落に伴い、ガソリン・灯油等の価格がだいぶ下がってきている。事業者にとっても家庭にとっても助かっていると思う。その分、家計費も消費に向かっているように思います。	
		製造業（飲料）	時期、季節的にしか判断できないですが、人の動きがある時なので、やや良くなっている。	
		製造業（印刷業）	問合せの件数と来店者数の増加が見られる。	
		製造業（非鉄金属）	為替が円高に振れていることや、中国の経済情勢、中東情勢の先行きの不透明感はあるものの、現状の自動車業界は引き続き堅調に推移している。	
	建設業	十数年前から民間の工事が少なくなってきたので、官公庁関係の工事に力を入れてきた当社であった。しかし、この頃民間からの工事依頼や見積りだけでもとの間合わせが多くなってきた。スリム化した当社なので、もったいないけどお断りしている状況である。よって、景気はやや良くなっていると判断する。		
	雇用	求人開拓員	普段は出さない金融機関の正職員総合職2名、一般職2名の求人が出ている。この金融機関から、中途の正職員の求人が出ているのに驚いた。	
	変わらない	家計	スーパー	店の売上げ、客数が伸びていない。
			スーパー	現在、景気が変わらないと思います。競合店が閉店したので、数字は伸びている。
			家電販売店	新生活の時期なので、売上げは変わらない。客数は減っているが、単価が上がっている。
			小売業（食品・酒類）	過疎地区なので、全くもって何も変化していない。
小売業（生花店）			土浦協同病院が3月1日にオープンするに伴い、周辺へのスーパーマーケットの新設、調剤薬局の一斉開業（6店舗）、また飲食店の開業やインフラ道路の整備など、病院城下町が出来上がりがつつあり、関連の仕事が一時的に増えてきているが、その後の需要展望が見えない。	
専門スーパー			特に変化がありません。	
和食食堂			リピーターのお客様が1月・2月と同じくらい。新規のお客様（宴会客）が増えない。	
洋食食堂			送別会、法事、誕生会等予約をいただいている（季節的要因）。一般のお客様もリピーターが多いので変化なし。売上げも大きな変化が見られない。	
寿司店			来るお客様はほとんど顔ぶれが同じで、たまに知らないお客様が来るが、昼も夜も同じ状態が続きます。	
都市型ホテル			中国含め東南アジアからのインバウンドで、稼働が上がっているのはとよく周りから言われますが、20~30名にて、週に来てもらうワングループです。東京からの溢れが回ってくるだけで、昨年の春節と違い件数も減少となった。また、宴会も受注状況も変わらず景気も変わらないと思われる。	
旅行代理店			消費税の増税もあり、お客様の旅行単価に対してもかなり厳しくなっていると思います。	
タクシー運転手			TXでのタクシー利用者が変わりなく増加しない。	
タクシー運転手			特に変化がない。	
ゴルフ場			季節の天候要因から大きい影響を受ける業種であるが、この要因を除けば大きな変動はない。	
ゴルフ場			なかなか春が来なかった。冷え込みが激しく、雪予報が続けて出ている。天候は理由にならないが、予約数も少なく景気が冷え込んでいるようだ。	
ボウリング場		全体的には同じような傾向にあるが、団体行事に上向き感あり。		
企業		農業関係者	3月期（初旬まで）の来客数・客単価を、前年12月期からと比較すると、両者ともに減少傾向。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。	
		製造業（食料品）	客数や客単価とも、特に変わった様子はない。	
	製造業（家具・装備品）	売上げ等は低いところで安定しております。		
	製造業（一般機械器具）	これといった変化がなかった。		
	建設業	受注量の変化なく、忙しい状態が続いている。		

変わらない	企業	運輸業（倉庫業）	入出荷数量は、3か月前と比較すると確実に増えている。ただし、業種により差がある。販売価格等の値下げも聞いており、動きの予想は難しい。景気は変わっていない。
		金融業	各業種での業況等に特段の変化はないように見受けられる。新規事業所等の開業や近隣地域での企業進出の目立った動向はない。不動産の売買事例はあるものの、活況を呈するまでには至っておらず、物件の動きは鈍い。マイナス金利の導入による影響もほとんど感じられず、企業の設備投資も少ない状況であり、景気自体は3か月前とほとんど変化はないように思われる。
		不動産業	総合的に判断して変わらない。業種間・業者間・個人の景気として、やや良くなっている判断とやや悪くなっている判断がまだら模様に見受けられる。年度替わり、年度末を控えても今一つ盛り上がりが見えない。ただ、人件費（福利含む）が人材不足のため上昇気味。
雇用	求人広告	時期的に求人需要が高い時期ではあるが、広告予算を抑える企業様が多いように思われる。	
	学校就職関係者	特段変化はなく、固定的な（支出）生活をしている。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	プレミアム商品券が終わり、売上げ減少傾向。
		小売業（米穀）	結び付きのある飲食店のお話ですと、年明けから全然良くないのお話です。当店でもお正月用においしいお米（高い）を買っていただきましたが、それが食べ終わると安価なスーパーやドラッグストアでの購入になります。まだまだ安さにこだわります。余裕がないですね。
		タクシー運転手	運行回数が減少している。水揚げの減少。タクシーチケット配布先の使用枚数が少ない。ロング（長距離）が少ない。
		タクシー会社	注文の電話の依頼が少ない。
		レジャー施設	売上げ・入場者数ともに下降傾向である。
		理・美容店	髪を切る期間が延びたり、客数が減ったり、良くなってはいないと思う。ただ、お客様の業種によって、業績が良い方もいるので、すべて悪いということではないでしょう。
		住宅設計販売	広告等の反響が減っているし、不動産の売行きが非常に悪い。
	企業	製造業（金属製品）	受注の量が少なくなっている。先の予定がなくなった。
		製造業（窯業・土石製品）	当社は、公共事業関係の仕事がほとんどであるが、年度末になっているのでほとんどの工事は終わりになっている。今年度は、特に関東地区が悪かった。
		製造業（窯業・土石製品）	公共事業が、例年と比較すると全体的に減少している。
建設業		契約が、1月より極端に減少しています。引合いも問合わせもほとんどなく、淋しい限りです。ここ数年の1月～3月の実績から見ても少ない。当社は官公庁、民間では上場企業と多数取引がありますが、引き合いがわずかです。この現象は厳しいと言える。ここ数年から見ても特に感じる。	
雇用	人材派遣業	求人が集まらない。	
	公共職業安定所	有効求人倍率が上昇していることから、指標的には景気の回復を示しているが、有効求人数は微減しており、企業の採用意欲が高まっているとは言い難い。	
悪	企業	農業関係者	購買、生活事業について、生活用品の売上げ減少が出ています。組合員の声も、米価が安いので買えないとの声がある。

(5) 東西地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	-	-	-	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	街中がやや活気が出てきたような気がします。	
		和食食堂	3か月前と比較して、売上げが増えています。特に御来店いただくお客様の数が増えています。	
		ゴルフ場	会員権の販売が好調。お客様の購買意欲が上がってきている。	
		レジャー施設	2月より営業再開し、比較対象期間が短いものの、売上げは向上した。新聞・テレビ等のメディアに取り上げられ、再開を待ち望んでいた声を多く頂戴した。	
	企業	農業関係者	貯金残高の増加傾向がある。	
		製造業（窯業・土石製品）	12月、1月は需要の端境期なので、現状では回復が見られた。その結果、若干だが受注残が増加した。国産品の注文も若干増加した。	
		製造業（窯業・土石製品）	現時点では、量の多さの忙しさより、短納期での忙しさです。中国の加工メーカーが、旧正月で長期休業する要因もありますが、予想以上に注文が部材中心だけれど、常時入ってきているので、ありがたい状況です。だが、他の同業者からは「忙しくない」と言う声が多く聞かれます。	
		公共職業安定所	新年度に向けて企業の雇用動向は、上向きになっており、求人活動も活発化している。	
	変わらない	家計	スーパー	営業数値（客数・単価）から判断すれば特に変化はない。
			農産物直売所	贈答用のりんご、みかんなどの高価な箱売りの商品の売行きが良くない。
専門スーパー			客単価、買上点数にほとんど変化が見られない。	
都市型ホテル			特に変化は見られません。ただ、宴会よりも仕出し（会社様、個人宅等様々）が増えているような気がします。	
旅行代理店			良くなっているとは思えません。少し悪くなっていると思います。観光バスの需要がありません。	
タクシー会社			年が明け、経済状況が悪くなる情報が流れている中で、タクシー利用客が増えてこないため、売上げ増にはなかなかつながってこない状況である。	
タクシー運転手			利用客は減少傾向になってきている。特に土曜日・日曜日の利用度が少なくなっているが、他の曜日のタクシー利用客は減少していない。	
ドライブイン			お客様との会話の中で、あまり良い話を聞かない。	
ドライブイン			来店客数は微増ではあるが、客単価は変わりなく景気は変化なく感じられます。	
ゴルフ場			予約状況にて。	
住宅販売会社		お客様の動向に多少動きが出てきたが、まだ上向きの感触はない。		
製造業		製造業（食料品）	ここ何か月も可もなく不可もない状態が続いている。時期的な変動はあるが、売上げが伸びたとも縮んだとも言えない状態である。	
		製造業（印刷・同関連業）	市内の工業団地には、住宅関連や製パン業をはじめ、上場企業が数多く進出しているため、ホームセンターやスーパーでの購買欲はすごい。また、自動車関連が進出中なので、雇用の問題も活発になりつつある。大・中企業は明るいニュースがいっぱいあるが、問題は商店を含めた零細企業がどう生計を立てるかだ。シャッター通りにならないため、また、町工場を閉めなくて済む対策が難しい。	
		製造業（金属製品）	先行きを考えれば不透明感は拭えないが、現状は期末を迎えて駆け込みと思える必要がある。	
	製造業（電気機械器具）	一部の部門より受注量増による増員要請はあるものの、全体の人員体制には変化なし。		
	金融業	取引先とのヒアリングでは、3か月前との売上げ比較において、横ばいの企業が多かったため、景気は3か月前と変わらないと思われる。		
	人材派遣業	今年に入ってからも、会社（取引先）からの求人が少ない。		
雇用	求人広告	景気の悪い状況が続いている。お客様は、集客や売上げに悩んでいることが多い。お客様と打ち合わせ中の世間話でも、商売のことになるとネガティブな意見が多いように感じる。ある業種のクライアントに関しては、冗談半分かもしれないが、リーマンショック以来の不景気だと仰ることも耳にした。		
	学校就職関係者	3か月前から業績が好調な製造関係企業は、変わらず好調で、若年層の積極採用を実行している。		
	求人開拓員	訪問先の企業様の話からは、「これから先を見ても何も変わらないのでは」「正社員を雇うリスクを考えると怖い」等と聞くことが多い。		

やや悪くなっている	家計	スーパー	客単価・客点数が若干下落している。特に月末にその傾向が見られる。
		製茶販売	客単価が低くなった。来店される回数が減った。
		和食食堂	異動の時期であるが、客単価が減少しており、前年と比べ伸び率が悪くなっている、やや悪くなっている。
		和食レストラン	3か月前と比較して、客数の減少、客単価の低下が見られます。特に、平日のディナータイムが目立っており、肉食指向がうかがえます。コンビニの出店も目立っている、多少影響は感じています。
		旅行会社	1月のスキーバス事故以来、バスで出かけるお客様が減少。行程を単純なものにしたりで、売上げは落ちている。
		タクシー運転手	常総市の洪水以来、商店街も電気が消えてしまい、店も早く閉めているので客が集まらない。
		ゲームセンター	来客数が減少しているうえ、比例して売上げも減少している。
		理・美容店	昨年と比較しても来店サイクルが伸びているようだ。水害の影響も大きい。
		理・美容店	来客数がやや落ち込んでいる。
		企業	農業関係者
製造業（印刷・関連連業）	3月は年度末にあたり、例年新年度の入札が行われる。原材料、人件費の増加にもかかわらず、競札価格は昨年より下がっている。需給のバランスが崩れているのが原因と思われる。		
製造業（印刷・関連連業）	得意先からの発注の減少が続いている。先行き不安からか、発注の細分化が一段と進み、価格の上昇は抑制されるので、収益の低下は一段と進んでいる。		
製造業（化学工業）	主要市場である中華圏顧客の需要回復が鈍いことに加え、円高の影響で輸出額が減少傾向。		
建設業	大都市だけが潤って、地方には回ってこない。		
悪くなっている	家計	商店街代表者	水害被害があり、人口流出が止まらない。精神的にもダメージが大きい。
		飲食業	来客数の減少もありますが、客単価も下がっている。
		クリーニング店	お客様から、TV等で景気が良くなっていると聞くと疑問に思う、と言う声を良く耳にします。
	企業	建設業	今の時期は、公共工事も少なく、民間も少ないので、3か月前と比較して悪いと感じます。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	-	-	-	
やや良くなっている	家計	スーパー	良い商品やこだわりの商品への問合せが多くなってきている（健康関連）。今後の対応で良い方向に行く期待あり。車の買い替えが目立つ。	
		小売業（弁当・惣菜店）	売上げが順調に推移している傾向は、すぐに変化することはないと思われ、また、例年暖かくなってくると行事などが増え、当店としては活力を受けます。	
		観光型ホテル	弊社の業種はやはり季節に左右されやすい。	
		タクシー運転手	世界の経済景気に影響を与える中国の景気後退や原油の異常な値下がりには、更に続くと思われる。しかし、日本では夏に国政選挙が控えており、政府は一時的にせよ、それに向けて好景気を演出しなくてはならないだろうから、夏に向けて各種政策を打ってくるだろう。私達のタクシー業界も多少はおこぼれに与えられそうな気がします。	
	企業	水産業関係者	燃油価格の下落の流れ。	
		製造業（電気機械器具）	案件先送りのため、現在より作業量としては増加予定。	
		製造業（電気機械器具）	見積り案件が多く、受注活動も活発であり、向上傾向と判断している。	
		製造業（電気機械器具）	前年の同時期と比較して、受注が増加する見込みがある。	
		製造業（電気機械器具）	受注残と引合い案件が増えているので、3か月先の状況は良くなっていると思われる。	
		製造業（電気機械器具）	新モデルの受注を確保した。	
	変わらない	家計	スーパー	今後の客数動向は変化ないと思われる。ただし、客単価（特に販売点数）動向は今後を占う材料となるので、今後細かく追跡していきたい。
			スーパー	悪くなっていても「やや」なので、まだまだ想定内で変わらないと思う。
			農産物直売所	大手の春闘の回答を見て。
小売業（水産物）			地域の活性化が感じられない。人口減少。	
スナック			少々上向きでも、お金を使うのを控えている人が多いように思える。	
食堂			早期退職者を募っているところが、客の中で3件ほどある。パートを3か所持って頑張っている若い人達もいます。格差社会が凄すぎる。若いママ達には「頑張って」とコーヒーを出している。先が思いやられる。	
観光型ホテル			3月・4月は年度末で個人消費が増えているため、外へ向けての出費は少ない。	
観光型ホテル			昨年同期と比較して、宿泊予約は増加しているが、日帰り宴会の予約が減少している。売上げはほぼ横ばいと見ている。	
タクシー運転手			回数が増える可能性が少ない。	
レジャー施設			現在の県北地区の商店等の顧客の状況を見ても、今後3か月先に変化があるとは思わない。	
ゴルフ場			2か月先の宿泊予約の出足が前年より鈍い。	
ゴルフ場			予約状況が、前年3月時点の流れと変わらない。	
ゴルフ場		先の予約状況を見ても、大きな変化はない。		
ボウリング場		新規固定客の増加が見込めない。		
住宅販売会社		前回の回答同様、年度内の動きはなさそう。		
企業	製造業（電気機械器具）	現在の仕事が3月末でおおよそ終了してしまうため、この先は反動減が起きると思われる。		
	金融業	元来、日立製作所と共存共栄を図り発展してきた構造背景から、急激な変化は見込まず、今後も好転する見通しは考えにくい状況にある。		
	情報通信業（情報サービス業）	先行きが不透明なため、設備投資には慎重と思われる。		
雇用	学校就業関係者	変化する要因が見当たらない。		
	求人開拓員	製造業での人手不足解消のため、派遣で対応している事業所が多いので、まだ先行きは不明。		

や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	売上げが増す要因がない。銀行の預金利息も利率が下がり、不安感を抱くお客様が多い。
		商店街代表者	公共工事が減っているせいか、見積物件が減少している。大型プロジェクトはいくつかあるが、予算が大型に集中してしまい、その他の工事へ回っていないのではないか。民間の設備投資もあまりパッとしない。
		衣料品販売店	景気が良くなる要素がない。
		自動車販売店	1～3月の需要期の動きの悪さを考えると、良くなるとは考えにくい。
		小売業（酒類）	例年3月から4月にかけて、歓送迎会で盛況であったが、今年は予約が少なく厳しい様子です。
		小売業（時計）	売上げの悪い日が続くのがここ2～3年あるので気になっている。
		中国料理店	現在、忙しく仕事をしている方々の話でも、「決算の時期だから、3月までは忙しい」など、4月から忙しい話は聞かない。自然と外食が減ってしまうのではないかと思います。
		旅行代理店	前年の受注状況を同時期と比較すると、現在、前年より大きく下回っている。
		タクシー運転手	お客様の話などを総合するとあまり良い話がない。
	雇用	製造業（電気機械器具）	周りの様子を聞くと、決して景気は良くない。今の忙しさは一時的なもので、この先はまた悪くなる可能性が高い気がする。
		製造業（一般機械器具）	受注減による生産量の低下が予想される。
		建設業	お客様の話や新規見積等の状況から、先行きに陰りを感じるので、景気は停滞してきていると思う。
		不動産業	住宅販売事業においては、一旦落ち着いてしまうと思う。
		運輸附帯サービス業	春闘でのペーパー回答が前年割れているので、購買意識が下がると思われる。
	悪 企 業	求人広告	4月以降の見通しで良い話をあまり耳にしない。
		公共職業安定所	製造業において、離職を伴わない再編整理が行われたこともあり、今後もその傾向が見られる。
		製造業（精密機器）	見通しがなく、厳しくなっています。業種もほとんどがダメです。
		運輸業	今後の新規の貨物の話が出てこない。また、既存の貨物の減少が著しい。

(2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	割烹料理店	3か月後というと、土地柄田植えの時期なので、農家のお客様が食事をしに来てくれることが多くなります。
	企業	製造業(金属製品)	見積りの件数が増えています。数か月先の仕事の動きが見え始めました。夏頃からかなり忙しくなりそうな雰囲気です。
やや良くなっている	家計	タクシー会社	電力自由化の影響によって、ビジネスマンの往来が増えれば、それに伴う経済効果が街中に現れてくる。それを少し期待。
		ドライブイン	この先3か月は、季節的にも良いので、良くあってほしいと思います。
		ゴルフ場	春先に入り気温も上昇している中、プレー予約が増加傾向を示している。
		建築設計事務所	低金利のため、設備投資が期待される。
	企業	農業関係者	お彼岸等もあり、春野菜等の出荷も始まる。また、資材等の供給も多くあり景気はやや良くなると思われます。
		製造業(食料品)	希望ですが、桜の花びらが舞う頃に景気の上昇気運が認められるとありがたい。
		製造業(精密機械器具)	不安定要素はありますが、新規取引先への売上げが開始され、ある程度計上出来る予定です。
		サービス業(コンサルタント業)	受注の予定が増えている。
	雇用	公共職業安定所	当所の独自アンケート(180社)により、67%が「好調～普通」の回答あり。
	変わらない	家計	商店街代表者
商店街代表者			商品の受注はあるが、原材料の高騰により利幅がなくなってきている。競争見積りが多く価格転嫁が出来ていない。個人消費は地方都市の実質賃金が上がらないと良くならない。高額商品の購入が止まった。また、企業、官庁の購入価格が上がらない限り良くならない。
百貨店、総合スーパー			3か月先の6月は、夏のクリアランスや中元商戦がスタートする時期であるが、それは毎年のことである。セール売上げやギフトの需要はある程度見込まれると思う。
百貨店、総合スーパー			お買い物の慎重さは、急には変わらないと考えます。お客様が、それでも購入したいと思っていただく商品提案が我々には必要です。
スーパー			先はかなり不透明。消費が良くなる要因が全くない。
スーパー			一時金は、わずかながら支給されましたが、基本給は変わらない。
スーパー			景気が良くなる気配が感じられないので、相変わらず財布の紐は固いと思う。
スーパー			好転する要素がない。
家電販売店			訪問販売で回ってもなかなか売れない。
農産物直売所			現在の飲食店(自店)の予約の入り方が、例年と同じくらい。
楽器販売			何の目新しさもなく、商品流通も停滞気味なので、季節的要素を除けば変わる要素はない。
レストラン			利用客に変化は見られない。
レストラン			賃上げなどのニュースが流れているが、大企業でも昨年より低い水準みたいなので、大きな変化はないと思われる。また、中小企業、家庭での変化も感じられないと思われる。
レストラン			今までより低予算で宴会が行われている状況が続くと思われます。
都市型ホテル		現状と変わりません。	
観光型ホテル		政府が推進する地方創生の地方経済への波及は遅れると思う。	
旅行代理店		良くなる要素、悪くなる要素が特に見受けられないので、景気は変わらないと思う。	
旅行会社		バス・ハイヤーの予約が少ない。	
タクシー運転手		千波笠原地区では、大手のドラッグストアが数軒あるのに、またドラッグストアを建設しています。私には考えられないです。そんなに薬を買ったりおしめを使ったりする老人が増えたのか。別の職種ならと思いますが、大手の電気屋と同じ事をしている。この地区だけで考えても、景気が良くなるとは考えにくいです。	
タクシー会社		お客様の動向から変化なしと思います。高齢者や運転免許返納者等への外出を促す対策が必要と感じます。先の見通しが分からないので、高齢者の方は出来るだけ歩いて行くようにしている。タクシーの利用回数は増加しているが、乗車距離は減少傾向にある。	

変 わ ら な い	観光名所	中国の景気後退の影響もあってか、外国の観光客が少なくなったように感じる。3か月先には観光シーズンを迎えるが、毎年この時期は売上高も増えるため、景気も大きくは変化しているわけではないと思う。マイナス金利で市場に出たお金がどのように景気に影響するか、まだわからないところである。	
	レジャー施設	ガソリン価格が下げ止まっているにもかかわらず、隣県マーケットエリアからの行楽客の足が伸びない。また、物販部門の客単価も変動が見られないため、この先3か月の見通しにおいても景気動向への判断材料は見当たらない。	
	家計	スーパー銭湯	報道内容から景気の下降が言われており、心配するところです。また、茨城プレミアム券の終了が気分的に下降させるとは思いますが、後半のやや上向きの好況感が持続することにより、現状と変わらないと思いたいです。
	レジャー施設	良し悪しを判断できる材料がない。	
	理・美容店	当店は毎年同じである。これとって、キャンペーンもやっていないので。	
	理・美容店	美容全般において、景気の動向は今のところ変わらない。	
	住宅販売会社	3月に入って若干落ち着き始めた。	
	企業	製造業（食料品）	現在の停滞感が横ばいで続くように思います。
	製造業（印刷・同関連業）	好転する要素が見当たらない。	
	製造業（一般機械器具）	良くはならないと思う。悪くならなければ良し。	
	建設業	変化する兆しが見られない。むしろ、悪化を心配した様子見。	
	運輸業（道路貨物運送業）	得意先の生産が弱含んでいるように見え、このまま推移していくと考えられる。	
	不動産業	アパート等の建築が減少傾向だが、一般住宅が消費税の駆け込みで増加しているようだ。	
	サービス業（広告業）	特に新しい動き（商業施設のオープン等）がないので、宣伝広告が増えるとも減るとも、今のところは実感することがない。	
情報通信業（情報サービス業）	安定した景気浮上の材料に乏しく、当分の間、市場の動きは少ないと考える。顧客からは、首都圏の景気が地方に及んでいないとの話を多く聞く。弊社も、商談機会は増えておらず、必要とされる利益の確保も難しい状況である。現状を鑑みて、3か月後の景況感が好転するとは思えない。		
雇 用	人材派遣業	売上げが大きく落ち込むことはなさそうだが、大きく増える案件もない。	
	求人広告	特に良い話は聞かない。	
	学校就業関係者	求人情報の中に大学生の給与単価があるが、目に見えてベースアップはみられないので、景気の状態も現状と変わらないと考える。	
	求人開拓員	求人数（12月、1月、2月）の中で正規雇用は43%、非正規雇用については57%と非正規雇用が増加傾向です。求人企業も先行きに不安を感じているのではないかと？短時間労働も増加しており、女性にとって応募しやすい環境が整いつつある。反面、正規雇用を目指す求職者にとっては、厳しい状況が依然として続いております。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	株価は続落低迷し、景気が良くなる要素が思い浮かばない。
	都市型ホテル	現在の状況を見る限り、回復は難しいと思う。総会のシーズンであるが、行わない団体や会食を伴わないなど、非常に厳しいと予想される。	
	タクシー運転手	3か月先の6月は梅雨の時期、夏の賞与の時期であり、売上げが多少増加する時期であるが、それは毎年のことである。このところ客単価は減少傾向にあり、3か月先もこの傾向は続くと思われるので、景気はやや悪くなると思う。	
企業	金融業	消費税増税に向け出来るだけ節約しようという動きが見られ、また、マイナス金利等の国の政策による経済への不安から、今後も個人消費の落ち込みは続くと考えられる。	
悪	家計	自動車販売店	株安が改善されない限り、年配の方の財布の紐が緩まない。新車の販売は年配の方の支出にかかっている。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	iPhoneの販売にも陰りが見られるように、全体として上向く景気が感じられない。
	製造業（窯業・土石製品）	3か月先までの仕事が確保できていない。	

(3) 鹿行地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	精肉店	金利等下がった影響で、全般的に買い物などにも少し余裕が出てくるように思われます。
		洋食食堂	ランチを中心に堅調な来店客数がある。18か月連続前年アップをしている。
		タクシー運転手	季節的要因で、会社関係の仕事も増えてくると思います。それと同時に個人の利用者も伸びてくる。
		ドライブイン	圏央道などの道路網の開通により、交通環境が改善されている。
		理・美容店	先行きの見通しはあまり良くはないが、全体的な支出は増えると思う。無駄な支出はしないが、欲しい物は買う人が多くなってきた。
	企業	建設業	住宅ローンなどの金利が下がってきているので、多少は着工棟数が増えるかも。あまり期待が待てません。
変わらない	家計	商店街代表者	地元工場関連企業は、海外情勢に為替等の影響を受けるため、不安要素を抱え、消費の拡大は見込めない。
		スーパー	収入が増加していると一部言われているが、それが感じられない。
		スーパー	特別に景気が良くなる要因が見当たらない。
		家電販売店	景気の沈みが心配ですが、良い条件もあるので、大きな変化にはならないと予想。
		農産物直売所	変わらず悪い。周りやお客様の、特に中小企業で、給料が上がったとか、景気が良くなったとか聞かない。
		農産物直売所	少しの変化（売上げ）はあると思うが、地域での活性化は進んでいないので、大きく変わると思えない。
		小売業（菓子類）	特に変わった様子はみられない。
		小売業（薬品店）	高い年齢層の購買力が落ち込んだままの気がする。
		小売業（食品）	売上げの50%中、スーパーが25%、残り25%が道の駅などの直売所への卸です。天候などに影響されますが、変わらずまずまずの売上げです。
		小売業（書店）	ここ数か月に変化がみられない。
		和食レストラン	売上げ等を勘案。
		観光型ホテル	予約状況が、例年と同じくいつもご利用の方が多く、まだ新規の方も少ない。
		タクシー運転手	地域周辺での企業関係動向の明るい変化が感じられない。
		タクシー運転手	先行きもすぐに景気が良くなる要因がない。
		ゴルフ場	予約状況から見てあまり変わらない。
		レジャー施設	変化するような要因について、現段階ではわからない。
		理・美容店	良くも悪くも、多分3か月先も変わっていない気がする。
		クリーニング店	将来への不安を考え、消費を抑えている。
		住宅販売会社	しばらくは、この状況が続くそう。
		住宅販売会社	そんなに急には変わらない。

変 わ ら な い	企業	農業関係者	景気に左右される円高や原油安の影響で、特に原材料の価格上昇が農業資材に影響することが心配である。
		製造業（食料品）	昨年程度の注文が入ると思われる。
		製造業（食料品）	特に良くなる要因も見受けられないので、現状維持と思う。
		製造業（電気機械器具）	マイナス金利や株安、国際情勢の不安など、不透明。
		製造業（鉄鋼業）	特段、好転や悪化が予想される要因は思い当たらない。
		建設業	建設業界の人手不足はなかなか解消されず、厳しい環境にあると思います。
		運輸業（道路貨物運送業）	活発な貨物の動きには程遠いのではないかと。むしろ、細かい荷主の要請にどれだけ無駄なく、対応出来るかが問われる時期であると考えられる。
		金融業	日本銀行のマイナス金利政策で、各金融機関の住宅ローンや預金金利が下がってはいるが、実際に住宅を買う個人や設備投資関連の融資が増える段階にまで至っていない。
		保険業	良い話は聞かなくなった。
		不動産業	変化する要因が見つからない。
火力発電所	出荷見込みが前年度並み。		
雇 用	人材派遣業	マイナス金利政策で、住宅ローンや企業向け融資の金利が下がる等、効果は徐々に出てくるものと思われ。ただ、実際に住宅を買う人が増えているのかは実感はありません。また、中国をはじめとする景気の落ち込みは即生産現場に影響が出ており、生産減や残業圧縮は現実にあります。ペースアップやボーナスも期待薄と思われ。また、	
	民間職業紹介業	やはり求人求職のバランスが悪い状態（求職登録者が少ない）が今後も続くと考えられる。	
	公共職業安定所	医療・福祉・建設分野等の人手不足の状況が顕著となっている状況が続く等、大きな変化はなく、有効求人倍率も横ばいで推移すると思われ。	
	学校就職関係者	長期的に見ると、良くなる要因もなく、少子高齢化の問題で不安要素があるように感じる。ただし、3か月後にどうなる感じはない。	
	求人開拓員	求人が出て、欠員補充による求人が多く、規模拡大や新規事業による求人は少ない。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	割烹料理店	コンビニが近くで、定期修理点検の時期で、工事関係者はたくさん入って来るが、夜の飲食は控えるように通達されているようで、店を利用するお客様はあまり普段と変わらず増える見込みはない。
		日本料理店	各行事でお金を控えている傾向にある。3月の節句、これからの5月の節句を核家族でお祝いをする方が増えた。そして、単価も予約をみる限り下がっている。
	企業	製造業（食料品）	大都市、大企業中心で地方の動きは早急に回復しない。
		製造業（食料品）	各業界で、人手不足による人件費の高騰が進むなか、運賃などの値上げもあり、商品に転嫁できず、利益は減少する見込み。
		製造業（金属製品）	チャイナリスクに代表されるように、アジア圏の影響を受けやすい。
内装工事業	原油等の下落で少しは楽になったけど、まず仕事が少なすぎる。今後、まだまだこのような状況が続くのでは、消費をしようとする気にならないと思う。		
企業	サービス業	中国市場の低迷が顕在化すること、米国での利上げ、日銀の金融政策の不透明感があり、景気の減速傾向が顕著になるのではないかと。	

(4) 県南地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	-	-	-	
やや良くなっている	家計	農産物直売所	近くに新しいスーパーが開店している。にも関わらず当店は影響なし。相乗効果。	
		小売業（米穀）	茨城県産米プレミアム付き商品券の使用期限が2月末日まででしたので、駆け込み購入が多くありました。そのお米を消費するのにまた数か月かかると思われます。ですが、卒入学式等々のイベントで少しでも活性化すればと思います。	
		タクシー運転手	会社が異動時期なので、夜の送迎が多少増えると思う。	
		タクシー運転手	駅から工場へタクシーで往復するお客さんが増加傾向にある。	
		ゴルフ場	土日の他にも、コンペ等の予約が入り始めている。例年に比べ、少し動きが遅いが確実に入り始めている。少しずつ良くなっていくと思われる。	
		住宅販売会社	このまま上向きの状況がしばらく続くと思われる。	
	企業	製造業（印刷業）	夏場に向け、来店者数が増えると思われる。	
		製造業（非鉄金属）	大きな影響のある事象が起きなければ、当面堅調に推移するものと予想している。	
		建設業	3か月後の工事予定は入っていない。しかも、年度末なので官公庁の工事が出ないのが例年なのだが、来年度の工事見積り依頼がかなりある。3か月先もこの傾向は続くと思う。よって、景気はやや良くなっていると思う。	
	雇用	人材派遣業	新年度になるので、人の動きが良くなる傾向。	
		求人開拓員	1月29日に、つくば会場元気いばらき就職面接会を行なった。企業が採用しても、辞退される事例が多くなっている。	
	変わらない	家計	スーパー	社会情勢に不安な要素が多いように思えるが、景気にはあまり影響はないように思える。
			スーパー	特に良くなる要因が見つからない。
			スーパー	今後も、伸びる要因は今のところありません。店としては、競合店の閉店の影響で数字は良い。
小売業（食品・酒類）			今のところ、良いも悪いも変化の要素は見当たらない。	
小売業（生花店）			消費税増税が景気回復需要の足かせとなっており、末端の小売業者は、中間業者の消費税分にさらに消費税を加算して、お客様から重複加算消費税をいただいており、商品の販売は今後も売上げ増加が難しいものと思われる。大手業者は、中間業者（仲卸等）を極力省くことで、税加算の回数を減らす流通体制を確立しており、大手業者ほど安く売れる仕組が出来上がっている。そのために同一商品での価格競争は難しく、今後売上げの上昇は難しく思われる。現に、吸収合併や廃業などが身近に感じられ、業種集約は加速していく方向にあると推測される。	
専門スーパー			良くも悪くもならないと思います。	
和食食堂			景気の関係もありますが、店側の方法（観光客への宣伝とか）を変えないと売上げが上がりません。	
日本料理店			何とも言えません。	
洋食食堂			大きな変化がない限り、いつものように過ぎていく。	
寿司店			時期的なことですが、先行きに多少は期待しています。けれど、自分も含めて年寄りがいっぱいいて先が思いやられる。	
都市型ホテル			先のオンハンド状況をみても変わらない状況といえる。個人消費の動きはレストランより判断できるが、予約状況も変わらず。景気は変わらないと思う。	
都市型ホテル			先の予約等について見てみると、一人当たりの単価はあまり変化がないため、あまり変わらないと思われる。	
旅行代理店			春の行楽シーズンに入り、お客様の利用数は増えるものの、消費税UPによる影響もあり、消費にはあまり期待できない。	
企業			タクシー運転手	企業の業況横ばい。経費の減少傾向。リストラや人件費削減。県内外からの企業進出見込みなし。
		タクシー運転手	特に何も変わりそうにない。	
		タクシー会社	スーパーでもあまり人を見かけないし、特売品ばかり買っている様が多い。	
		ゴルフ場	お客様の声から、金融状況に不安があるが、大きな変動要因とはならないと思う。	
		ボウリング場	新学期を迎え、学生の動き次第ではやや良くなる傾向感あり。	
		レジャー施設	変化する要素がない。	

変わらない	企業	農業関係者	お客様全般における「買い控え傾向」は依然として続いている。
		製造業（食料品）	今の状況からはあまり変わらないと思います。
		製造業（金属製品）	多少の増減はあるが、変わらないと思います。
		製造業（食料品）	特に景気を左右する要因が見当たらない。
		製造業（飲料）	景気動向の判断材料がない。
		製造業（家具・装備品）	仕事柄、大きく変化は望めません。仕事は急がしいのですが。
		製造業（窯業・土石製品）	公共投資の手控えは今後も続くと思われる。
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当たらない。
		建設業	消費税の増税の影響が懸念されるが、具体的に減少する見込みは感じない。
		運輸業（倉庫業）	3月に入り、年度末で出荷数が増えることは予想される。ただ、それは毎年のこと。運送関係も動きが鈍いため、全体的に今後の景気は変わらないと思われる。
		金融業	マイナス金利導入による影響は現時点ではほとんどなく、今後3か月先においても大きな変化は感じられない。引き続き現状と変化なく推移するものと思われる。
		不動産業	景気を変える要件も見当らず、変わらないと判断する。ただ、マイナス金利の影響と世界の景気の行方が判断できない。気になる要素である。
		雇用	求人広告
学校就職関係者	特別な支出をする理由と余裕はなく、固定的な（支出）生活をしている。		
やや悪くなっている	家計	家電販売店	季節的要因で（売上げが）伸びることもあるが、現状、前年比約5%ほど客数が減っている。
		和食食堂	前年と比べると予約数が減っている。
		タクシー運転手	マイナス金利、消費税増税のイメージにより、消費意欲が極端に落ち、タンス貯金に回っている傾向。
		理・美容店	時代はマイナス金利。業績は右肩下がり。良くなる気はしないです。お客様は公務員の方が多いので、それほど景気に左右されないとはいえ、良くはならないと思う。
企業	製造業（窯業・土石製品）	東北地区においては活況感があるが、関東以南は人手不足、資材高の関係もあり、工事が進まない。	
	建設業	例年に比べて、見積り依頼が減っている。	
雇用	公共職業安定所	新規求人数は2か月連続増加し、3か月前と比較しても増加していることから、指標的には先行きに緩やかな明さを示唆するものである。しかし、求人数の増加は特定の企業に限られており、地域全体として景気が良くなると判断できる情報は見当たらない。	
悪	家計	住宅設計販売	一般の方々の所得は上がらない。そして、銀行融資の審査は厳しいので、住宅の購入をしようとする方々が減っている。また、賃貸住宅に住まわれている方々も、なかなか引っ越しを考える余裕がないのが現状なので、今後は必然的に悪くなると思います。
		企業	農業関係者
建設業	3月期（まだ上旬ですが）の引合いがほとんどありませんので、ちょっと心配しております。このまま続くのではとの不安もありますが、社員一同情報力を高め、営業にしっかりと受注力を発揮してほしいと願っている。他社との交流を深め、景気の回復を願いつつ、この不況打開策を確保したい。足で稼ぐを基本とし、頑張りたい。		

(5) 県西地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	商店街代表者	お客様の客単価が上がってきた。このまま3か月後まで続くとうれしい。
		専門スーパー	暖冬で、園芸や屋外作業用品の需要期が早まっている。暖冬の年は例年、春先の動向が早まり、お客様の活動期が長くなるため、良くなると期待します。
		和食食堂	マイナス金利の報道等でタンス預金が増え、手元にお金があれば使っていただけるのではないかと期待します。
		和食レストラン	気候も良くなり、外出する機会が多くなる季節である。また、現在の状態が芳しくないため、今後は少し良くなると考えております。
		都市型ホテル	今年はオリンピックが開催される年でもあるので、多少良くなるのではないかと期待をこめて。
		旅行会社	桜の開花により、客足も軽くなると思われる。インバウンドも増えてくるでしょう。
		ゴルフ場	予約伸び率が良い。GWの稼働状況も例年に比べ良い。価格を気にせず予約してくる傾向がある。
		クリーニング店	今はガソリンが安くなっているので、出かける時が増えれば少しはお金が回るのでは。
		住宅販売会社	多少の期待を込めて、年度が変わって動きが出てくるかもしれない。
	企業	農業関係者	今後も貯金残高が見込まれる。
		製造業（化学工業）	中華圏顧客の需要回復は厳しいものの、エレクトロニクス、自動車関連部材とも、4月以降は季節要因として例年需要増。
		製造業（窯業・土石製品）	例年のことなのですが、私達の業界では約30年ほど前の6月は、超繁忙期だったけど、20年前くらいからは、暇な時期へと年々変わってきているのが現状です。しかし、中国の経済、政治情勢の動向如何では、我々の業界の業態も、まだまだ勝機はあると思います。
	雇用	求人広告	現段階が不景気なので、それを打開しようとする経営者の方たちの熱意や工夫が景気を後押しするのではないかと考えている。色々今後の考えを伺うが、どの経営者の方も諦めていない。いつ浮上するかは見えないが、そのきっかけを作る動きが各企業に見られている。
		求人開拓員	求人票を見ていて、前年度の賞与がなかった企業でも今年度からは「賞与あり」になっていたり、景気は少しずつ良くなってきていると感じる。
変わらない	家計	スーパー	最近、賃金アップが大手でも鈍化しているとテレビ等でやっていた。総体的に不況感を感じていると思う。したがって、お客様も自己防衛に走るのではないのでしょうか。
		スーパー	食料品に限っては、大きな購買の変化はないと思います。
		農産物直売所	マイナス金利政策の浸透が図られるか見極める必要があると思いました。
		和食食堂	客単価や利益率は減少傾向にあり、3か月先もこの傾向は続くと思われるので、たいして変わらないと思われる。
		旅行代理店	良くなる理由がありません。給料を上げるように政府は話しているが、我々は現状維持になります。県内の観光に力を入れていただき、旅行業や観光バス業にもお金が回ってくるように働きかけてほしい。
		タクシー会社	法人客の利用度は現状維持。今後の経済状況を考えると、更なる上積みは期待できない。
		タクシー運転手	洪水の影響はまだまだ続くと思う。
		ドライブイン	季節特有の売上げ増の時期ではあるが、客単価は変わらないうえに、減少傾向にある。
		ドライブイン	相変わらず財布の紐は固く、必要最小限の買い物しかしない傾向が続いている。政府による景気刺激策も出尽くした感があり、消費拡大は望めないのが現状であると思われる。
		ゴルフ場	予約状況にて。
		レジャー施設	近隣に量販店が開店。無料・低価格には敏感に反応し、節約指向が強い。地理的・施設的にも特段変化はなく、景気は横ばいであると思われる。
		理・美容店	人口流出やお年寄りの人口減など、地域によっては客数の減少が大きく響いているようだ。
		理・美容店	来客数が落ち込んでいるのは、時期的なものかもしれないが、しばらく様子を見守りたい。

変 わ ら な い	企業	製造業（食料品）	現状の仕事量からすると、人員の問題もあり、まだしばらく現在の状態が続くと思われる。
		製造業（印刷・同関連業）	戦後を支えてきた商店や町工場が時代の変化と共に縮小。または消滅しつつある。世界の先進国を見ても、自然の時代の流れかも知れないが、継続したい若者（子息を含む）がいれば、地域で、会議所で、市町村で、そして国の施策で手を貸してヒントを与えてやれば、もっともって廃業も少なくなり、底辺拡大につながり、地方も活性化するのではないか。
		製造業（窯業・土石製品）	6～7月が季節的に最盛期になるが、近辺の同業他社の受注状況は、まだあまり良くないようだ。
		製造業（電気機械器具）	長期的な受注変動の把握は相変わらず難しい状況にあり、現状の人員体制を継続する見込みである。
		金融業	オリンピック関連で、一部の建設業者では業績回復の兆しは見られるものの、その他の業種では売上げが伸び悩んでおり、3か月先もこの傾向は続くと思われる。
雇 用	人材派遣業	会社（取引先）からの求人がない。	
	公共職業安定所	企業の景気に対する先行き感、昨年度より良いとする企業が多くなっているが、依然として先行きに不安を持っている企業も多い。今後は少し改善が見られるものの、現状は大きく変わらない。	
	学校就職関係者	今年は、新卒者の就職採用活動が6月から開始となる。今後、企業からの問合せが増えていくとは思いますが、就職活動自体は3月から解禁されているため、特段変化はないと思われる。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	製茶販売	良くなる理由が見つからない。これから納税時期に入るし、まとまったお金を出さなくてはいけない。
		飲食業	お客様方の消費意欲をまったく感じない。
		タクシー運転手	2月のタクシーの動きが悪く、この傾向が続いていくような状況が考えられる。
		ゲームセンター	現状では来客数が増加する見込みがない。
	企業	農業関係者	入金が少なく、出金が多くなっている。
		製造業（印刷・同関連業）	昨年9月の洪水の影響で、次々と営業を止める店が出てきており、市外へ転出する人が出てきている。更地になったところが目立ってきている。
		製造業（印刷・同関連業）	アベノミクス効果は全く感じられないが、世界経済の不安は直結しているように感じる。人間の感情が経済に及ぼす影響は直接的だと感じる。消費支出のマイナス化が報じられているのも当然と思うし、それは収益悪化に直結する。
製造業（金属製品）	新年度用の試作等の件数は例年より少なく、年初から低い水準が予想出来る。		
建設業	ほぼ大半の企業が成績が悪い。		
建設業	公共工事がどのくらい発注されるかによると思いますが、今年は仕事量が少ないように感じます。お客様の様子も上向いている感じはあまりないように感じます。		
悪	家計	商店街代表者	買い物をする気分になれない。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 東北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	地域の老舗小売店、飲食店の閉店が増えているように感じます。
	商店街代表者	身近な企業で倒産・廃業があったり、100年を超える同業者がM&Aで事業をつないだりと、何かと慌ただしい状況になっている。改めて事業を継続することの難しさを感じさせられた。
	スーパー	安価な商品への反応が速くなっている感じがあります。今までは客数向上がゆるやかであったが、以前より反応が速い気がします。景気減退がみられている気もしますが、今のところ変化はありません。
	スーパー	惣菜、焼いてある魚、煮てある魚が売れている。自分で作るより割高でも、惣菜品は売上げが変わらないので、まだまだ景気全体は悪くないと思う。
	スーパー	フルーツでは、価格より美しさ、甘さなど品質を重点に見ている方が増加している。
	衣料品販売店	今年に入ってからいつになく静かである。
	小売業（弁当・惣菜店）	景気は良くなってきた感じはするけれど、売上げにはまだ大きく反映されていない。また、求人を出しても応募がなくなっている。消費税が10%になることを見越して、8%に上がった時に価格の転嫁を抑えめにしまい、今後の消費税の動向が気になります。このまま据え置きになるのであれば、近々に価格改定は必要になりそうです。
	小売業（水産物）	客数は増加しているように感じるが、客単価が向上しない。
	レストラン	早く景気の良くなることを祈りたいですね。
	スナック	収入の増減に関わらず、質素儉約に走る人が多いと思います。
	中国料理店	まだまだ、仕事が忙しいところ、暇なところと、差が大きいと感じます。景気が良くなったと身近に感じたいものです。
	タクシー運転手	昨今、車の自動運転の技術が急速に向上して実用段階に近づいている。あと、4年後の東京オリンピック頃までには、ある特区内限定で自動運転車を走らせる話も聞く。そして、その後10年前後くらいには、相当な地域でそれは認可導入されるだろう。一般ユーザーはその手の車を購入すれば、病院でもショッピングセンターでも、観光地でも好きな所にスイッチ一つで行けるようになるのも夢ではなくなってきた。そうなると、今の形態のタクシー業界は消えていくことになるだろう。栄枯盛衰、盛者必衰のことわりである。
	タクシー運転手	いつもの3月だと異動等があり増えるが、今のところその様子がない。
	ドライブイン	物価は上昇している。
	ゴルフ場	平日の来場者は9割がシニア層の方。料金が少し高いと言われる。
ゴルフ場	2016年1～3月の世界経済の動きが激しく、先行き不安が一般消費生活に影響している気配が感じられる。	
企業	林業関係者	バイオマス関係による動きが多くみられる。合板会社等が進出すれば、地域的景気の上昇は大きいと考える。
	製造業（電気機械器具）	あまり景気の良い話は聞かれない。
	製造業（電気機械器具）	人材の確保が困難な状況である。これは、新卒、中途、派遣すべてに言えることである。求人を出しても、応募が集まりにくい。
	製造業（電気機械器具）	仕入先の話によると、例年と比べ部品の売上げが少なく、停滞しているように見られるとのこと。
	製造業（精密機器）	全体的に見て悪いですね。
	金融業	若年層の人口流失が続いており、高齢化が進んでいる。市内中心部においては商業施設・大型宅地分譲開発プロジェクトの予定もなく、市内飲食店も閑散とした状況が見られる。その反面、介護福祉関連事業の進出・増設は顕著に表れている。
	不動産業	消費税増税を目前にし、市況が高まっていくことを期待したい。
雇用	求人広告	規模が大きい会社は以前より予算があるように思うが、中小規模は依然厳しいように思う。
	公共職業安定所	離職は伴わないが、関連企業へ従業員を移籍・出向させるケースが大手メーカーで実施されている。
	求人開拓員	建設土木事業所では、募集が多いが景気回復より高齢化での退職補充である。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見	
家計	商店街代表者	丁度1年後は、消費税の10%へのUPが予定されているが、それに伴い今年の夏以降は、いろいろな変化が出てくるように思います。	
	商店街代表者	商品仕入れ先が、東京、大阪からが多く大都市の賃金は上がっているのに、ジワリジワリと値上がりしている。材料価格も輸入品は値上がりして高止まりしている。しかし、地方の景気回復はしておらず、水戸等は大変厳しい。年に一度、同業者の全日本の組合総会、関東甲信越の組合の総会があり、情報交換をすると東京の組合員は余裕がある話が多く危機感がない。東京には大企業、官庁関係が多く受注が集まり価格も上昇している。近くの席で同席した仙台の組合員、宇都宮の組合員と情報交換すると両方とも悪くない。県外のメーカー、問屋の中でも、水戸の低価格競争で厳しいのは知っている。先日、銀行から「借入を申し込んでくれないか」と話があった。今までそのような話はなかったが、ゼロ金利政策なのか設備投資資金、運転資金等の貸付先を探しているようだ。「借入してまで設備投資をする余裕がない」旨を話して帰ってもらった。	
	百貨店、総合スーパー	多くのお客様が慎重にお買い物される中、良いもの、気に入ったものであれば、それが高額でもすぐに購入に結びつくお客様もおられます。“二極化”と聞くこともありますが、そのような流れも感じます。	
	スーパー	為替の影響により、食品の値下げが見受けられ、客単価が上がらない。	
	スーパー	貧富の格差が拡大している。車通勤でよく感じるようになったことですが、高級車が多くなった一方、低価格の車も非常に多くなっている。	
	スーパー	消費税増税のカウントダウンが始まるので、財布の紐はさらに固くなっていくのではないのでしょうか。	
	自動車販売店	1～2月は通常、新車を見に来る方が多いのにかなり落ち込んでいる。新型車が発売になって間もないのに危険である。	
	農産物直売所	金利引下げで、お金を使わないような方向の話が雑談で増えた。	
	楽器販売	私の友人知人数名、趣味（ゴルフ・自転車・バイク・楽器など）を再開しました。不景気の折には、趣味に関する部分が最初に削られますが、そのような趣味に関しての投資ができるということは、その人の状況環境にもよりますが、上向きな傾向が見え始めたということでしょうか。残念ながら私にはまだ見えておりませんが。	
	レストラン	3月以降は外国のお客様（インバウンド）利用が増えてくと予想される。	
	レストラン	ガソリン代等が安くなっているのに、助かっているとの話をよく聞く。	
	観光型ホテル	一時増加傾向にあった団体のお客様が減少傾向にある。	
	旅行代理店	昨年のフランスのテロ、1月の軽井沢のバス事故と大きな出来事があると、業界に大きな影響があると改めて感じました。	
	旅行会社	預金を銀行に預けても利息も付かないし、生活がどんどん苦しくなっています。助けてください。	
	タクシー運転手	千波笠原地区にドラッグストアの建設（これで5か所になる）、自動車の販売店は数知れず。大手スーパーが3か所、コンビニやお医者さんと名の付く所も数知れず。新しく建設しているのはこの5店です。	
	タクシー運転手	県央地域の繁華街が低迷しているため、特に厳しい景気を回復させる手段が見当たらない。	
	タクシー会社	年末に閉店していた店舗（特に飲食店）が、今現在も空き店舗のままになっているところが多数見受けられる。新陳代謝の速度が停滞しているようなのが、少し気になる。	
	タクシー会社	常連のお客様で、通院のためにタクシーをご利用頂いており、週3日程度の利用で、自宅でご乗車されていましたが、自宅から1キロ程度歩いて乗車するために、朝早く起きて準備をし、30分～40分程度歩き、少しでも経費を削減すべく努力しているとのこと。健康のために歩くことは大切ですが、健康重視よりも経費削減のためであることが残念であります。	
	ドライブイン	観光バスが本当に少ない。団体でのツアーが今年は例年に比べても、震災以降一番少ない。個人旅行のお客様は少し増えたように思います。	
	レジャー施設	観光バス利用の団体客が確実に減少している。バス会社利用料金の値上げが主因であるが、先月の夜行スキーツアーバス事故が拍車をかけるのではないかと懸念している。（バス乗務員からは、運行計画以外は乗客からの立ち寄り要望にも一切応じられないので不便をかけている…と漏らしていた。）	
	ゴルフ場	プレー終了後、食堂の使用が少なくプレーヤーの帰りが早くなっている。	
	スーパー銭湯	茨城プレミアム券により、当館利用客増、特に別棟宿泊施設の利用増加が県外客の増加を示しており、今後も当券の発行を考えていただき、茨城県をPRしていただきたいです。	
	住宅販売会社	土地探しから検討しているお客様が多く、良い土地さえ見つかれば成約につながるケースが増えてきた。	
	企業	製造業（食料品）	マイナス金利導入等の影響がどこまで大きいかわかりませんが、今年は身近なところで淘汰が進みそうな気配を感じています。
		製造業（食料品）	借楽園のお客様の財布の紐は毎年固くなるようだ。
		製造業（印刷・関連産業）	マイナス金利が日銀の期待通りになるのか、まったくもって予想もつかない状況で設備投資もできないと思っている。大企業ばかりが恩恵を受けているようにしか思えない。
		製造業（一般機械器具）	ガソリンだけは安くなった。1リットル100円を切る店もある。梅が早く咲き、3月までの観梅期間中、梅がなくなるのではと心配です。
製造業（精密機械器具）		大物件の製品が、数年ぶりにまとまって受注出来ました。積極的な設備投資の動きが見られます。	
建設業		世界発信の企業を指標にした景気感では、地方にはここ20年間全く反映されず、低迷した中で淘汰されてきた。地方に住む住民の雇用をどのように創出するか、国、地方自治で考えること。失業者の財政でなく、働く者への財政投入（雇用経営者への優遇処置）を考えないと衰退は止まらない。	
運輸業（道路貨物運送業）		ガソリン、軽油価格が下落しており、このため恩恵にあずかっている。	
金融業		大型商業施設に消費者が流れ、商店街離れに歯止めをかけることが出来ていない状況にある。また、若年層の減少や消費意欲の低下が町の景気を押し下げていると感じる。	
不動産業		値引き、入居条件が変わりつつある。	
情報通信業（情報サービス業）		休日に、車を利用し出掛ける機会が多いが、気のせいなのか、県外ナンバーの車が増えてるように感じた。ガソリン安価による波及効果なのか分からないが、県内観光地の状況につながることを期待したい。	
雇用	求人広告	コンビニが元気よさそうだ。	
	公共職業安定所	建設・機械・製造業の落ち込みが見受けられる。	
	学校就業関係者	コンビニの新規オープンをここ数か月、何店舗も通勤で見かけている。時期的なものなのか？それとも、個人消費がゆるやかに上向きになりつつあるのか？疑問に思っております。	

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	テナントの入れ替えが多くなっている。ショッピングセンターも売れていないように感じられる。
	家電販売店	家電量販店が2店舗同時に新しく店を建設中です。警察署の建設や防災アリーナの建設等、期待感を持っているように感じます。
	農産物直売所	以前より良くない、と言っている人が増えた。
	農産物直売所	冬場での焼いもがブームになっている。
	小売業（食品）	卒業式や入学式の季節ですが、周囲の人は高齢者ばかりで、そのような関係の子供達は少なく、人の動きは目立たない。
	精肉店	若い人の家庭でも、最近牛肉などの高級な肉を買う人が少しずつ増えてきた。
	洋食食堂	また一店、当市を代表する老舗が閉店する。時間はゆっくりでも確実に過ぎて、「栄枯盛衰は世の習い」とはいえ、感慨深いものがある。切磋琢磨して自分の店をいっそう磨かねばと思っています。
	割烹料理店	株価も一時期より下がり、円高で、ガソリン価格も下がり、政府の言うような景気の回復は望めなそうた。
	日本料理店	景気と関連しているかわかりませんが、世代交代が来ている会社は全体的に景気が良い会社が増えていいるのに対し、後継者がいない、もしくは世代交代をうまくできていない会社は、周りでは縮小しているところが多いです。縮小しているということは、景気が悪いということだと思いましたので。
	海鮮料理店	消費税込みのコースが増えていきます。以前は季節ごとに食事会がありましたが、今は家族、少人数、少額で個人の出費が少なくなりました。今後、消費税が10%になった時のことを考えると、仕事の仕方をどうすれば良いか、大きな課題となっております。
	タクシー運転手	地域の西部地区（元青果市場）に数か所のショッピングセンターが進出してきて、オープン状況で今後の人口集中を期待したい。
	ドライブイン	この冬は、比較的晴れが多かった。
	理・美容店	住宅ローン金利がかなり下がっているの、家を買う人が増えた。それに伴う家具や家電といった物も売れているので、ある程度はお金が回っていると思う。
	クリーニング店	年度末なので、残業が増えている会社が多い。町おこしで、ひな祭りを開催をしたところ、たくさんの人が来場してくれて、にぎわったようです。
住宅販売会社	マイナス金利が、どう景気に影響していくのか気になる。	
企業	農業関係者	賃金の上昇は、中小企業まで浸透していないため、贅沢品を買う購買意欲もなく、顧客が買う平均単価は、前年度より低いと思われる。
	製造業（食料品）	マイナス金利が発表されてから、景気の回復が気になる。
	製造業（食料品）	取引先の容器業者で、早期退職募集の動きが出てきている。
	製造業（電気機械器具）	景気が良くなっているとは、全く感じられない。
	製造業（金属製品）	業界を考えると統合化が進んでいる（将来の人口減少）。地方のものづくり産業では生産する商品ロット数が少なくなった。
	建設業	年度末を迎え、来期の受注へ向けて動いていますが、厳しい状況に変わりなく冷え込みが感じられま
	建設業	太陽光発電施設が多く見られます。優良農地区画整理の土地に見られます。
	運輸業（道路貨物運送業）	ある運転手さんとの雑談で、普通トラックは仕事がなく空いているが、冷在庫、冷凍車は食品、化粧品、薬品等の荷主からの要請で忙しいということであった。やはり、特殊車は需要があるようである。
	金融業	国道沿いにショッピングモールや飲食チェーン店の出店等が予定されており、個人商店等の営業は更に厳しさを増すものと思われる。
	保険業	常陽銀行の株価は、平成27年7月24日に760円、平成28年2月12日に368日、3月4日に417円。今後どうなるのか。
	不動産業	建設業者の役所の入札価格の値引率が今まで以上に大きく、仕事量自体が少なくなっているような気がする。
	内装工事業	大型店舗などに立ち寄ると、割安感のある店とやや高めめの店では、お客の出入りの差が大きく見受けられる。
	サービス業	高速道路の物流、産業系車両の減少を感じます。また、一般道路沿いのコンビニの倒産、廃業も増えていると感じています。
火力発電所	4月からの電力自由化により活性化している。	
雇用	民間職業紹介業	在日外国人の就労を考えた取り組みを積極的に考えていきたい。
	公共職業安定所	労働者の休業を計画する事業所が一部のみられる。
	学校就職関係者	職安の様子が落ち着いているようで、雇用状況は良いように感じる。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	周りの競合店が閉店するのは、景気が良くないからで、店は数字が良いが複雑。10年後の高齢者問題も深刻な状況。すでに守谷市内でも、買い物難民地域が発生していると聞いております。
	農産物直売所	県外（東京、千葉、埼玉）のお客が多い。ガソリン代をかけても買いに来ている。
	小売業（食品・酒類）	近隣の小規模店や個人事業店などの倒産や閉店が相次いでいる。新しく大型店ができれば、その地区の小売店はやはり続けられなくなるのだろうか。
	小売業（生花店）	高速道路の運送事業トラックの数が昨年より増えてきているように感じる。
	小売業（米穀）	結び付きの事業所様での従業員（アルバイト・パート含む）不足が深刻なようです。求人広告を出しても全然集まらないそうです。結果、定休日が増えています。
	和食食堂	5、6月が水郷（あやめ）の時期ですので、団体客、フリー客、観光バスの宣伝に力を入れています。
	和食食堂	売上げ前年比は約100%。客数は減っているが、客単価UPで補っている。好景気、不景気の差が各個人で広がっているのではないかと思います。
	日本料理店	外食より家庭での会食が増えているような気がします。
	洋食食堂	お客様から聞いた話ですが、阿見のアウトレットに買い物に行くのが60代夫婦。最近、つくばのイオンに行くと、下着や小物類（マフラー、帽子、靴下）をタイムセールで200～500円くらいで買ったようで、それでも楽しく良い物を選べたと品物を見せてくれました。昔はちょっと恥ずかしい話でした。とにかく、商品が余っているのか売れないのかわかりません。
	都市型ホテル	以前のインバウンドは、あまりお行儀が良くないような方が多かったが、最近では比較のおとなしい方が増えて、以前のように東京の秋葉原とかの利用者も減り、2度目3度目の方で観光を楽しんでいるようでした。洋服もブランドとかで、海外の景気は良くなっているように思えました。
	タクシー運転手	1杯500円程のフルーツジュースが、健康志向な女性にウケているのを見ると、商品に付加価値が加われば、多少高くてもお客さんは選んでくれる流れを感じます。
	タクシー運転手	土浦協同病院が、3月1日より土浦市おおつ野に移転開業した。道路整備も進み、近くにレストランやコンビニ等が出店し、集客力が高まっている。タクシー利用者もあり、今後期待したい。
	ゴルフ場	金融政策の状況によっては、好・不況業種に差が出るかと思われます。
	ゴルフ場	消費税10%という政策は、消費にブレーキをかけるようで先行きに不安を感じる。
	ボウリング場	大企業の動向は出つつあるが、中小企業にもベースアップの動きが見られれば、我らサービス業にも潤いが出てくる。
	理・美容店	良い人と悪い人の差が開いてきてる気がする。かたや外車を乗り回し、かたや軽に替える人もいる。格差なんだろうね。
	住宅設計販売	新規住宅ローン審査が通らないお客様が増えている。そのため、販売が難しくなり、価格が下がっている。再生可能エネルギー事業、新電力事業は多忙である。
住宅販売会社	マイナス金利の影響が住宅ローンの金利に直結してきたので、今後も住宅検討客の動きが活発になると思われる。	
企業	農業関係者	飲み会などが減少した。
	製造業（食料品）	株価の下落により、だいぶ損をしている人もいます。それでも一般の消費者は株等をやっている人はそんなにいないので、景気の動向にはそんな影響はないと思う。
	製造業（家具・装備品）	バブル最盛期を送った方々は、現在の景気が悪いと皆さんこぼしています。私は、これが現在の消費については普通とっております。団塊の世代以後、消費の形が大変変わりました。社会構造の変化と思いますが、これからは正念場とっております。
	製造業（窯業・土石製品）	東北地区は、公共工事に関してはまだまだ現在の状況が続くと考えますが、その他の地区においては活況感は感じられません。
	製造業（非鉄金属）	人手不足感あり。
	建設業	取引先の状況も、情報収集に全力を上げるも、具体的な物件も少ない。予算の配分も見通しが暗い。社員の給与、賃上げを優先する企業も増えています。今までに見られなかった現象ではないかと思えます。特に、つくばの某社長は20人の社員に一律18,000円賃上げをしたとのこと。売上げ拡大と利益の確保に努力された様子（株の取引の利益の増加と見られます）。
	建設業	機械関係の小さい会社を営んでいる友人が2人いるが、年度末なのか日曜を返上して休みなく仕事をしている。当社では20年も前にあったような気がする。うらやましい限りであるが、土曜はともかく日曜は休める当社ぐらいの景気状況が気に入っている。
	建設業	新築アパートの下請けを多く行っているが、入居者の減少が問題になってきている様子。今は良いが、1年先は分からない。
	金融業	平成28年3月1日に、土浦協同病院（病床数800床）が土浦市真鍋新町より土浦市おおつ野に新築移転し、入院患者約170人移送された。新病院は診療科31、地上10階、駐車場約2,000台。今後の動きを注視していきたい。
	不動産業	法人化・システム化された会社と個人的な業者との格差が大きく広がっている。これは、後継者問題も含め、大きな社会問題である。現在13支店、総社員170名の規模を拡大するための人材の採用、福利費を含む給与の増加が年々大きな負担となっている。安定したストックビジネスの拡大に最大限努力している。
雇用	公共職業安定所	中国経済減速等の影響もあり、企業整備による離職者の発生や労働者の休業を計画・実施する動きが高まっている。
	求人開拓員	とある金融機関が中途の正職員を募集しているのには驚いた。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	必要な物しか買わない。消費税10%引き上げも不安材料。不平不満の声が増えています。
	商店街代表者	暖かくなってきたせいでしょうか、来店客が増してきました。近くに市で経営する核になる施設があります。土・日の来客数が増えたのもそのせいでしょうか。
	スーパー	青果市場・魚市場に行くと、同業者の言葉として売上不振の店が多い（大半）。まさに異口同音である。とても調子を合わせて発しているとは思えない。本音の意見であろうと感じる。
	スーパー	最近に限ってではないが（ここ1～2年の流れで）、価値（健康、機能性等）には多少値段が高くても売れる反面、特売商品が安くても以前ほど売れない。価格でお客様は集めにくくなっています。
	メガネ・時計販売店	2月の売上げ客数がかかなり悪かったが、3月に入り、多少お客様の動きが出てきました。
	専門スーパー	中国人による特定の商品の爆買いがほとんどなくなってきた。
	製茶販売	独り暮らしが増え、孤独死も増えている。核家族が悪いとは言わないけれど、昭和の時代に出来て、なぜ今現在、同居や共働きをしなくては生活が成り立たないのか不思議。どこの家庭も電気用品が揃っているけれど、なぜ心に余裕が持てないのか？
	和食食堂	ガソリン代、燃料代の安値が続いていて、助かっていますし、皆様助かっていると思います。
	飲食業	お客様に限らず、皆さんから活況な話が聞かれず、沈滞状態となっています。
	都市型ホテル	夜10時を過ぎると、国道さえ交通量が本当に少ない。代行の姿を見かけないことも、しばしば。
	旅行会社	“安かろう悪かろう”がまた見直されてきていると思われる。回転寿司へ5回行くより、高級な寿司屋のカウンターへ1回行く。食べ放題の店へ5回行くより、フルコースを1回食べる、等。
	旅行代理店	燃料代は少し安くなりましたが、旅行者が少ないので出発できません。日帰りで5,000円くらいの自由昼食・自由見学のツアーでは、集客率が90%でした。宿泊を伴う旅行は、少人数だけでした。2月は中国の正月だったので、来日された方がいたようですが、茨城県にはあまり来なかったようです。
	タクシー運転手	夜の飲食店が、店を早く閉じたりやめたりしているのが多い。
	建築設計事務所	見積り依頼や企画立案業務が増えた。しかし、実行されるプロジェクトは少ない、とみている。
住宅販売会社	マイナス金利の導入により、今後の住宅ローンの金利についての問合せが増えた。	
企業	農業関係者	貸付案件が多い。
	製造業（食料品）	求人募集をしても、ほとんど問合せが来ない。人が増えれば仕事自体はあるが、人手不足のため、売上げも伸ばせない。
	製造業（印刷・同関連業）	婚活も含めて、地方の若者が業種に関係なく活発にイベント等を開催している。30～40歳代で独身者が多くいるのも、少子化の原因になっているとのこと。高齢者に対する福祉も大切だが、「少子化」を改善しないと日本の将来は明るくならない。
	製造業（印刷・同関連業）	景気回復への期待が急速に減退し、特に若年層に地方での仕事、生活への不安が広がっているように感じる。特に商業については壊滅的状況が進行し、その速度が年々早まっている。行政と住民、業者等の信頼関係の希薄化や効率、低価格一辺倒の関係の進展が、更なる地方の衰退を招くかも。
	製造業（窯業・土石製品）	景気が良いのは、大企業だけで、中小零細企業にはその恩恵とやらの「実感が無い」と言われています。前政権の頃は株安、超円高で外需、内需企業もすべて不況一色だったのが、現政権の経済不況対策で、一部の大企業が立ち直り、過去最高益を出したのだから、直接恩恵がなくても、必ず関連する業種にも徐々にいいことを期待し、上手いかないとすれば、自らのやり方に当を得ないところがあると「責任は我にあり」と自覚し、業績低下を不況・政治に求めないように考えましょう。
	製造業（金属製品）	素材業者の売込みが頻繁である。かなり素材の動きが悪い。
	建設業	最近の動きが良いのは、圏央道関連の工事くらいで、あとは目立った動きがないです。
	金融業	日銀のマイナス金利導入の影響から、個人住宅新築やリフォームを検討するお客様が増加しており、今後、住宅建築関連業者や不動産業者の業況が活発になるのではないかとと思われる。
不動産業	自宅用地として、土地を探している人が多い。	
雇用	人材派遣業	安定していない仕事で、売上げが少ない。
	求人広告	お金の動きが弱いのか、サービス業を中心に閑散としている。打ち合わせも、混雑していると思われる時間帯に行われることが多く、少しびっくりすることもある。それだけ景気が落ち込んでいると感じることがある。
	求人開拓員	特に、大きい買い物をした、旅行に出掛けたといった話を聞かないので、皆さん節約されているように感じる。